大正十三年十二月十四日第三種郵便物認可
昭和十一年十月十四日　新京日日新聞　（水曜日）　第四千九百二十六號　（一）

新京日日新聞
夕刊　十月十三日
本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二二五　營業局專用(3)三三〇〇
發行人　十河榮忠　編輯人　松本勇　印刷人　水越內之介

死体捜査中の滿軍に ソ聯兵再び不法射撃
東部國境十二號線附近で 富永中尉は行方不明

當地着情報によれば十一日東部國境十二號界標（琿春東方）附近における滿ソ軍衝突事件後滿洲國警備隊富永中尉以下三名は十二日午前八時十一日の戰鬪位置附近において死体捜査中又復ソ聯側の不法射撃を受け、部下三名は歸還せるも富永中尉は行方不明となつた

"ソ聯の認識如何で 紛爭防止も可能"
重光駐ソ大使車中談

【東京國通】滿洲、北支方面視察中であつた重光駐ソ大使は十二日午後九時東京驛着列車で歸京した、同大使は廿八日東京驛發敦賀經由で正式赴任の途に上る筈であるが、外務省ではこれに先立ち對ソ外交の根本方針並に最近の日ソ間の諸外交懸案調整の具體的方針に關して首腦部會議を開き同大使に携行せしむべき訓令案を決定する筈である、同大使は途中迄出迎への記者に車中で左の如く語つた

滿洲は全體として落着いて來たことが看取される、之は北平、天津についても云へる、自分が丁度北平に居つた時豐臺及び上海事件における水兵射殺事件があつたが、直接の影響はなかつた、然し共產黨の北支進出は日滿は勿論、支那も警戒をせねばならぬ、北支政權も內部的には色々議論もあらうが漸次強化されて來て、施政上も穩かだ、同方面の經濟提携は益々うまく發展してゐる、滿洲と外蒙の關係も以前よりは緩和され、滿蒙交渉もこの空氣で行はれてゐるから話合もつくであらう、滿ソ國境方面も大部近頃は穩かなやうだ、ソ聯がよく事態を認識すれば紛爭も防止出來る、日ソ不可侵條約がよく問題になるが、ソ聯が何國が來ようとも一擊の下に叩きつけるといふが如き言辭を弄する間はてんで問題にならない、石油、漁業の兩協定が片づき結構だ、遣り方によつては日ソ關係も火花を散らさずにやつて行けるし暗い影もだんだん取れることと思ふ

〔寫眞說明〕川越、蔣會見

內外の視聽を惹つけた八日午前十時孔祥熙氏別邸に於て行はれた川越大使、蔣介石氏との歷史的會見、寫眞は（一）會見終つて玄關にて向つて右より高宗武氏、川越大使、蔣介石氏、淸水通譯官（二）會見場所孔氏別邸の警戒

楠本大佐 天津に向ふ

【上海十三日發國通】支那駐屯軍當局と要談のため楠本大佐は重要使命を帶び十三日午前七時飛行機で上海發海岸線經由天津に向つた 同大佐は天津着と同時に軍司令官及び幕僚を中心とする會議に列席、南京交渉の經過を報告、北支における今後に對策等につき重要意見の交換を行ふ筈

"支那の大衆を目標に 交渉を進めよ"
日支外交に對する陸軍の態度

【東京國通】南京における日支外交々渉が目下進行中であるから、陸軍としては現在對支外交關係に何等かの積極的活動をなすことは差控へてゐる、しかし南京政府の對日外交は常習的口頭外交であるから、今後においてはかゝる口頭外交を排撃して實質的に日支關係の根本的調整を試みなくてはならぬ時期である、隨つて陸軍としては、現在の外交々渉が破局に陷るといふ最悪の場合を豫想し、着々これが準備を整へておく必要を痛感してゐる、陸軍は對支外交折衝に際し日本の朝野が南京政府の實力を過信し、又南京政府のみが唯一の支那政府たるが如き先入觀を抱き過ぎる點を遺憾とし支那の大衆を目標とする今後の對支外交々渉につき深甚なる考究を遂げつゝあり目下南京における外交々渉の成行を靜觀してゐる

陸相歸京後 機構改革問題 積極的展開？

【東京國通】大演習終了後各地を視察した寺內陸相は十二日夜約一週間振りで歸京したが行政機構改革、對支關係、明年度陸軍豫算に關する事務的折衝經過等、現下陸軍の當面せる諸重要問題につき不在中の各種情勢を聽取するため梅津次官を途中まで車中に招致今後の陸軍のとるべき態度に就き重要協議を遂げるところあつた、而して陸相は十三日の閣議後において廣田首相と會見、大演習のため中斷された重要諸問題を中心に意見交換を行ひたき意向を有してゐるので政局今後の問題は行政機構改革に對する陸相の態度如何が最も注目さるべく陸相の歸京を契機として局面の積極的展開を見るべき情勢にある

豫算削減には 絕對に應じ難し
陸軍飽迄國防豫算成立を期す

【東京國通】明年度豫算について大藏省は軍部豫算を目標に大斧鉞を加へ出來るかぎり切詰めたい意向のやうであるが、陸軍としては左の如き見地からこれが削減は絕對應じ難しとしてゐる、即ち明年度豫算中標準豫算、滿洲事件費一般、新規要求を除く約三億圓の新事業費は航空兵力の整備に重點をおくもので帝國四圍の條件上直接的絕對必要性に基くものである、從つてこれを削減することは軍の企圖する國防計畫に一大齟齬を來すので陸軍として忍ぶ能はず、あくまでその成立を期せねばならぬ、而して明年度豫算は今後六ヶ年、卅三億に上る國防計畫の初年度分を爲し右計畫と有機的に不可分關係にあるもので軍としては明年度豫算と共に向ふ六ヶ年の國防計畫全部の一括承認を求むるものである、これがためには首尾一貫する確固たる財政計畫が樹立さるべきで寺內陸相も必要あれば馬場藏相との間に政治的折衝を行ひ軍の意向を明示して明年度國防豫算並に綜合國防計畫の完成の上に財政當局の協力を求むることになるかも知れぬとしてゐる

けふ三相會議開催 電力問題協議

【東京國通】電力統制問題に就ては廣田首相始め關係閣僚は本月一ぱいに解決を圖る方針の下に過般の三相會議以來政黨方面殊に民政黨の地ならし工作に多大の期待をかけてゐるが、その後の情勢は政府の期待に反し小川商相の斡旋も未だ奏效せず、十二日初顔合せを行つた民政黨の電力特別委員會の動向も不分明で、前途相當難關を思はせるものがあるので、政府は極めて苦慮してゐる模樣である、しかし豫算編成、行政機構改革その他今後幾多の難問題をのこしてゐる政府としては電力問題について何時までもこれを遷延することを許されぬ事情に置かれてゐるので十三日の閣議終了後三相會議を開催し局面打開に就き協議を進める筈である、よつて當日の三相會議以降來週一ぱいに如何なる局面が展開を見るかゞ電力統制案生死の重大な鍵と見られるに至つた

人事往來

（來京）

▲東條憲兵隊司令官 十三日午後五時二十分歸京
▲御影池關東州廳長官 同午前七時十分來京
▲無藏篤太郎氏（會社員）十二日ヤマトホテル
▲三浦達男氏（同）同
▲井口源三郎氏（同）同
▲三輪武雄氏（同）同
▲不破榮一氏（同）同
▲中尾都山氏（都山流宗家）國都ホテル
▲小池玲山氏（都山流尺八師範）同
▲山城曙山氏（都山流師）同
▲池田靜山氏（同）同
▲星田一山氏（同）同
▲久木玄響氏（教諭）同
▲武田道太郎氏（樂器商）同
▲三枝裕介氏（會社員）同
▲西原寬直氏（イツス商會）同
▲江木富夫氏（關東州工業會社）同
▲飯塚十傳氏（鐵道通信）同
▲尾澤嘉久馬氏（同）同
▲佐波才三郎氏（農業）同
▲江藤大吉氏（土木建築）同
▲山本源太郎氏（南滿興業）同
▲村田辰市氏（鐵滿社員）同
▲菅野東雄氏（同）同
▲藤倉與氏（林業）同
▲山本武氏（航空社員）同
▲大戸安重氏（會社員）同三笠旅館
▲宮原虎夫氏（官吏）同
▲高根澤貞藏氏（同）同
▲山下正平氏（商業）同
▲谷村馨氏（同）同
▲大塚守一氏（滿鐵社員）同
▲長谷川文吉氏（市公署官吏）同向陽ホテル
▲植村章氏（滿洲國官吏）同
▲松田評造氏（淸水組）同

▲北野登志雄氏（盛田合資）同
▲種田大郎氏（同參事）同
▲石光憲武氏（汽車公司）同
▲手木寬三郎氏（電々會社）同
▲藤山良一氏（安川電機）同
▲豐島準氏 同旭ホテル
▲尾崎晋吉氏（商業）同
▲藤好好美氏（三機工業員）同大和新館
▲古川渉氏（同）同
▲市川正人氏（機械商）同
▲山本愛作氏（鐵路局員）同
▲淸水常一氏（建築業）同
▲西村良一氏（官吏）同大丸新館
▲電信竹郎氏（日滿商事）同
▲鹿野又吉氏（商業）同國際ホテル
▲有本後夫氏（滿鐵社員）同
▲市川蓮氏（電々會社）同
▲鈴木恒雄氏（出版業）同
▲黑田淸氏（滿鐵）同
▲河內三雄氏（同）同
▲藤田雄藏氏（陸軍大尉）同新京ホテル
▲新村重次郎氏（機關士）同
▲森本信夫氏（軍人）同滿蒙旅館
▲小津和一氏（大林組）同
▲谷茂氏（商店員）同
▲牧野廉一氏（會社員）同
▲菅野奬氏（曹長）同
▲湯野文喜氏（同）同
▲鹽尻彌太郎氏（滿鐵）同
▲川村秀文氏（航空社員）同
▲岡部重幸氏（同）同
▲日向政助氏（警官學校教員）同
▲川幡太七氏（商店員）同
▲田中隆氏（會社員）同
▲小本辰次郎氏（軍囑託）同
▲池田秀藏氏（官吏）同
▲金阪幾一郎氏（滿洲國官吏）同新都旅館
▲大瀨義實氏（滿洲國官吏）同喜久屋旅館
▲奧村竹次郎氏（會社員）同大和旅館
▲大塚林三郎氏（同）同
▲伊澤家光氏（同）同
▲志水敏三氏（印刷工廠員）同北滿旅館
▲堀谷覺一郎氏（興行師）同
▲山本勝美氏（滿鐵）同
▲福島榮氏（醫師）同
▲平野幸太郎氏（抗木商）同
▲松原留吉氏（東拓社員）同

（出發）

▲鈴木謙則氏（同）哈市へ
▲相川勝六氏 奉天へ
▲麻生重幸氏 同
▲水野虎雄氏 同
▲沼田英治氏 同哈市へ
▲本庄庸三氏 同
▲木村通氏 同奉天へ
▲横田忠文氏 同釜山へ
▲田中東氏 同奉天へ
▲稻坂諭吉氏 同
▲藤岡繼平氏 同
▲武野與三郎氏 同市內へ
▲笠島光五郎氏 同奉天へ
▲福井私城氏 同吉林へ
▲野田一氏 同哈市へ
▲木下金藏氏 同
▲飯塚十傳氏 同
▲尾澤嘉久馬氏 同
▲道邊昇氏 同四平街へ

その日〳〵

□戊申詔書下つて二十九年、われらはもう一度當時を回顧し、今日の世相を檢討しやう
□獨逸、ソ聯の鐵道サーヴィス改善は民族性の改良を目指すものと、宇佐美代表の談
□この國においても、民族性向上のために取り上げていい方面は多々あらう
□しかしソ聯の不法は續く、これは先方の政略である、一觸や二觸ゝ通り越してゐる

乳房ある悲み（百七十）
（日上演上映）中西伊之助 作　武久 畫

驚愕（七）

『ちよつと偶にはこんなこともしてみたいからさ、これでもまだ少女時代のロマンチックな夢は殘つてゐるわよ……』
『あんたでもね』
『失禮なこと仰有い、その夢が滅茶々々にされたからさ！……』
『は、は、は、そんな動機があるんですか？不思議だな？……』
『何が不思議よ！だからあんたなんかは淺瀬だといふんですよ。あゝもうやめ、やめ、そんなことひツこなし！』
女は起ち上つて、四疊半のすぐ前の厨房へ來た。玉汝はわくわくした。そこを開けられやしないかと思つたのだ。
『チャプ臺どこ？』
女はきいた。玉汝は、四疊半だこいはれたら大へんだと思つた。
『えゝ、そこの壁に立てかけてあるでせう？』
『何んだかいやに臭いわね、掃除してゐるの、あんた？』
そして、チャプ臺を持つて行つた。玉汝はほつと胸を撫でた。
チャプ臺の上で、チーズを切つてゐる音がした。洋酒の瓶の打ち合ふ音がした。
『榊原の奴、どうしたかしら？』
男の聲である。
『ぼんやりして歸つたでせう……』
女の聲である。
『ほんたうに歸つたかしら？やけてまたどこかへ泳ぎ廻つてゐるかも知れない、でも、あすこに僕のゐることは氣がつかなかつたな？』
『あんた、長く待つた？』
『えゝ、一時間ばかり』
『でも、あの男をつれて行くとは思はなかつたでせう？』
『それアさうさ、あんな場面を見せてヘッとさせるんだからなア……』
『でも、あんた、あのダンサーガールの中でモーションをかけてゐるのがゐるでせう？私、ちやんと知つてゐるわよ……』
『ざつちからかけてゐるんです？』
『双方からよ、憎らしい！』
ピタリと肉を彈くやうな音がした。
『あ、痛い！』
『私、今晩、飲むわよ！』
『さあどうぞ、いくらでも』
カチリと鳴つて、洋盃にドプドプと酒を注ぐのがわかつた。そしてつづけさまに唇を鳴らして酒を吸つた。
なぜかは知らねど心わびて
昔の傳へはいとど身に沁む
淋しく暮ゆくラインの流れ
入日に山々赤く映ゆる
美はし乙女子巖に立ちて
黄金の櫛とり髪のみだれを
ときつつ口ずさぶ歌の聲の
奇しき力に魂も迷ふ……
華代子は、アルコールに熱し切つた聲帶を高く顫はせて自分がその美しい魔女でもあるかのやうに、ローレライの前に二節を華やかなソプラノでうたつた。奔放な肉感的な聲だ。
――漕ぎ行く船人歌にあこがれ
岩根も見やらず仰げば郷て
波間に沈むる人も舟も
奇しき魔が歌うたふローレライ
醉ひつぶれてゐる喬は、それでも後の一節を苦しさうに息づかいながらバスで合唱した。
漕行く船人歌にあこがれ
岩根も見やらず仰げば郷て
波間に沈むる人も舟も
奇しき魔の歌うたふ、ローレライ……
その後の一節は、恰も喬自身の今の運命でもあるかのやうにくり返してうたつた。そして彼の聲は重く悲しかつた
……

眞晝間の舍街で 若き人妻に暴行
留守番中を襲ひ色魔荒狂ふ 犯人逃走、手掛りなし

冷風吹きすさびいと物の憐れを覺へる晩秋の國都に白晝街の眞ッ只中で若き人妻に暴行を加へ猿の如く逃走せる色魔狂が現はれ捜査陣を緊張させてゐる――十三日午前十一時二十分ごろ市内曙町某晩秋澤氏＝假名＝方に見知らぬ日本人青年が訪れたので留守番中の秋子（二六）さん＝假名＝が來意を問ふと"昨晩お伺ひしやうと思ひましたが夜分では御迷惑と思ひまして……、實は御主人の知人ですが"と、初めの裡は誠しやかに應答してゐた件の男は矢庭に秋子さんを其の場に押し倒し暴行を加へんとしたので秋子さんは必死になつて抵抗し、救ひを求めて大聲を出さんとすると男は頑丈な腕で咽喉部をしめ遂に氣絶させ目的を達するや脱兎の如くいづれにか逃走した、間もなく隣人が怪しい物音を聞いてかけつけ屋内をのぞいてみると夫人が昏睡狀態に陷つてゐるのですわ一大事とすぐさま新京署に急報、新京署では井田司法次席、池田刑事部長以下全係員が滿鐵醫院醫師を伴ひ現場に急行臨檢を行ふと同時に直ちに全市に非常線を張り一大活動を開始したが犯人の逃走形跡は更に分らず目下嚴重捜査中である

兩陛下より 樺太羅災民に 御救恤金

【東京國通】宮内省發表―今般樺太廳管下暴風雨のため被害尠からざる趣き聞し召され、御救恤として天皇、皇后兩陛下より金一封を樺太廳へ御下賜あらせられた

ママの元コック 未拂給金を請求

市内東一條通りカフエーママでは既報の通り營業主小川サトさんと管理人弘中定との間に紛爭を生じて未解決のまゝにあるが、十三日同カフエー元コック特別市豐順路若草食堂方谷口駒太郎氏より未拂給料支拂の請求が出た、即ち谷口氏は本年四月十七日カフエー開業と同時に月七十圓の給料の約束で雇れてゐたが谷口氏は八十三圓、その他滿人ボーイ四名の給料五十圓合計百三十三圓不拂のまゝ本月七日突然解雇されたので營業主に請求せるに管理人弘中に請求して呉れといつて取り會はず又弘中氏は自分は單に管理人であつて而も君等と同日に突然解雇されたのだから君等の給料は營業者が支拂ふ性質のものだと言を左右にして取あはず、遂に困つて谷口氏は滿人ボーイ四名分とゝもに營業主小川サトさんに支拂つてもらふやう說諭願を出したものである

愈よ十六日から 優良ストーブ大展覽會
本社主催 會場は公會堂横

本社主催の第五回優良煖房器具展覽會はいよ／＼切迫し係員は公會堂左横に會場の設備出品場所の抽籤割當等に忙殺されてゐる、既に決定した陳列表によると、會場向つて右出入口を

入る

と、泰利號の滿洲工廠式溫水煖房ボイラー龍平洋行のフクロクストーブ、三菱商事の國神ストーブ瓦斯會社支店のガスストーブ、滿洲土建金物商會の富永式ストーブ、森商店新京出張所のビクターストーブ、高田商會の日の丸ストーブ、樺太商店の恒六ストーブ、撫順公司支店の池田式ストーブ清水貿易新京出張所の白熱ストーブ、内田洋行の三和ストーブ、滿電新京支店の電熱ストーブ、鳥羽洋行のヘルスストーブ、水上洋行の村上式ストーブ、川上工務所のダイヤストーブ、福昌公司新京支店のセンオーストーブ等

何れ

も大小各種事務室用、座敷用、炊事兼用のもの等取揃へられるほか、中央部には先頃滿鐵から分離し日滿商事の手に移つた、石炭販賣の新京に於ける總元締、組合事務所から出陳の各種石炭コークス、無煙炭、練炭等の見本があり、外に無煙炭用の錨星印センオーストーブを出陳會場では各出陳者が實物で焚いて、完全燃燒、無煙無臭放熱調節等を懇切に說明し尙購買者の備忘に丁寧な取扱方を印刷した小冊子を配布することゝなつてゐる

兎に

角これから約半歳の間新京の生活には是非なくてはならぬ煖房設備、その器具の良否によつて家庭經濟に及ぼす影響は頗る大きなものであることは云ふまでもなく、又眞劍に叫ばれつゝある煤煙防止にも掛なからぬ關係をもつことであり特に今年設立された新京煤煙防止委員會とこの煖房器具展覽會に參考資料を呈示することゝなつてゐるから、是非一度はのぞいて見る必要があらう、會期は十六日から

始ま

つて十七日の神嘗祭から十八日の日曜日にかけ、毎日朝から夕刻までとなつてゐる、尙他に現品未着のため參加の決定して居らぬ二三のストーブは、會期中に到着すれば直ちに出陳することゝなつてゐる

情夫と逃避行

大連逢坂町三田尻樓抱へ藝妓二龍こと長谷川ルリ子（二七）は十二日午前十時頃無斷家出して情夫岩佐浩雄（三三）と新京に逃避行と洒落込んでゐる形跡あり十三日大連署から取り押への手配があつた

横川烈士遺蹟保存會 揮毫即賣展覽會 十六日よりビューロー二階で

日露大戰に際し皇軍のため特別任務遂行途上ハルピン原頭に於て、不幸敵手に斃れたる壯烈殉國の志士横川省三氏遺蹟保存會は本部を東京市麻布區簞笥町二十四番地に置き氏の遺蹟保存の擧を發表し廣く江湖に其の資金を仰ぎしところ、この擧に贊成せし現代元勳顯官政客、陸海軍將星を始め宗教界の名門、知名の書伯文士、演藝界の名流等より寄贈されたる揮毫五百點を集め新京前ツウリスト・ビューロー二階滿洲土產品陳列所廣間に於いて本社後援のもとに展覽即賣會を來る十六、十七、十八日の三日間開催することになつたが、これが開催の曉は各方面に非常なる人氣を呼ぶものと期待されてゐる

幸運の番號は誰に？ 愈よあす開票
丁組の追加發行も全部賣切れ

財政部發行の福民獎券（彩票）は回を重ねる毎に人氣を高め十月は新たに丁組五萬枚を追加發行したが之も案じたほどのこともなく月初めには羽が生へてすつかり賣切れになるといふ豪勢さで當局はほくほくの態であるが、最近のこの賣行に關して語る

最初發行の際は甲、乙二組十萬圓であつたがその後丙を追加し更に今回丁を追加して合計四組二十萬圓を發行するやうになつたが賣行は却つて額が多くなつた最近の方が良い位です、これは最初のうち彩票が單に射倖心をそゝる弊害の伴ふものゝやうに思はれた爲であるが福民診療所等の建設によつて益金の使途が一般に認識され、この好成績は大衆の理解を裏書するものだと思ひます、從つて彩票を白眼視する人も次第に減り又購買者も朗らかな氣持で抽籤の結果を見てくれるやうになつたのは誠に喜ばしい次第です、福民診療所は既に全滿各地に數十ケ所建設され細民階級の感謝の的となつて居ります

尙ほ今月の彩票の抽籤は愈よ明十四日に切迫したが今回から財政部の都合に依り抽籤時間は一時間遲れて午前十時に變更された

馬車夫組んで 匪賊と大亂鬪

十二日午後六時三十分ごろ寬家店居住の荷馬車夫李仲九（四五）外七名が新京から一日の稼ぎを終へ馬車十頭を曳いての歸途、南新京を距る千米の所に差かゝるや突如傍の森の中から一名はモーゼル拳銃三名は棍棒を所持した四人組の滿人强盜が躍り出で拳銃を擬して馬を掠奪にかゝるや、ほんの隙に乘じた馬車夫七名は多勢をたのんで突差に强盜に躍りかゝり大亂鬪となつたが賊は意外の逆襲にかなはぬと見て南嶺方面に逃走した、屆出により附近の分駐所から直ちに首都警察廳に手配、日滿官憲で犯人嚴探中であるが未だ逮捕に至らない

三都市の興材業者が 新會社を設立
原木購入の合理化を期す

濫伐と盜伐によりその將來を憂慮せられた滿洲國の林業は滿洲建國後政府當局の林業政策の確立により伐採方面に關しては實業部の官行伐採、特殊會社滿洲林業公司直營伐採及び民間の集團伐採に大略統一せられたが、これが拂ひ下げは原則として競爭入札に附することゝなつてゐる、これによつて從來個々の契約により買ひ附を行つてゐた製材業者は營業方針に一轉を來し小規模なる業者は落札不可能なる場合は已むなく又買ひにより材料購入を行はざるを得ず、各種の不利不便を生ずるため、新京、吉林、敦化の製材業者はかねてから原木購入の合理化を計る會社設立の計畫を樹て協議中であるが、十一日公會堂で擧行された委員會で大體二百五十萬圓（全額拂込）前後の會社設立具體案が成立した模樣である

本社を見學 普通學校生徒

新京普通學校生徒上級生百二十餘名は十三日午前中崔己氏に引率され本社へ來訪、編輯局から始め製版の順序より印刷に到るまでの見學をなした（寫眞は見學の生徒一行）

井上講伯個人展 十四日中銀倶樂部で開催

大連出身井上長三郎講伯の個人展覽會が十四日午前十時から同九時まで中銀クラブで開催される、同氏は嘗て二科へ出品し、一九三〇年度展及び獨立展に於て最高賞を得ること數回、昭和九年獨立美術協會々員に推され其間作品發表毎に畫壇に問題を投げかけ批評家及鑑賞家の注視の的となつてゐる人である出陳畫題は

▲風景、▲アマリス、▲黑石礁、▲靜日果物A、▲星ケ浦、▲夏日（星ケ浦）▲果物B、▲花A、▲風景、▲柳の森（獨立展出品）、▲阿佐ケ風景（獨立展出品）、▲森、車（獨立展出品）、▲牛、人、花▲風景、▲小品畫（獨立展出品）、▲繪畫▲靜物、獨立展出品）、▲建物花（獨立展出品）、▲樹木、▲素描、▲素描

遺骨南下

昨夜太平堂でしめやかなお通夜を營んだ山岡部隊杉本勇吉少佐以下の遺骨六十一體は在京國防婦人會、在郷軍人、學生其の他日滿官民多數の見送り裡に十三日午前九時三十分發列車で故國へ悲しき凱旋をなした

市内各小學校 けふ戊申詔書奉讀

明治大皇明治四十一年に戊申詔書を下し給ひてより二十九年、十三日はその記念すべき日に當るので新京滿鐵各小學校では午前九時より講堂に兒童を集めて校長戊申詔書を奉讀し一場の講話をなした

滿洲部會 婦人矯風會

日本基督教婦人矯風會滿洲部會はガンドレット恒子女史を迎へて十三日午前九時半から新京記念公會堂階上會議室に於て左の如く開催された

▲祈禱會（司會者）中山和子 ▲開會式（司會者）岡安潔 ▲議案提出協議會 ▲晝食並報告 正午―二時 ▲追悼會（司會者）片桐代子 ▲役員選擧 司會者）ガンドレット恒子

ガンドレット 恒子女史來社

日本基督教婦人矯風會副會頭ガンドレット恒子女史は同滿洲部會々長大迫支部幹事長安藤夫人と十二日午後來京十三日新京支部長の案内で挨拶に來社した

菅野氏 族來京

滿鐵新京事務局庶務課長菅野誠氏の家族は十三日午後五時二十分のあじあで濱田館課長の家族は同午後七時四十五分のにとてそれ／＼來京する

あす（十四日）

▲福民獎券開彩、午前十時、市商務會
▲ガンドレット恒子女史講演會、午後一時半、公會堂
▲麥油並德座談會、午後一時 ヤマトホテル
▲井上長三郎氏個展、午前十時―午後十時、軍人會館
▲中尾都山師と都山流演奏會 午後六時半 公會堂

※今晩の主なる演藝放送※

▲七・〇〇 御謠めぐり（松江）川島なみ外 ▲七・二〇 義太夫さはり一君 太平記白石噺（大阪）豐竹昇之助外 ▲七・三〇 獨唱とピアノ獨奏（東京）四家文子外 ▲八・〇〇 落語（東京）三遊亭金馬

天氣と氣溫

十三日の天氣 南西の風晴
日の出 前五時五二分
日の入 後四時五八分
月の出 前四時三八分
月の入 後三時五九分
けふの氣溫 最高一四度〇 最低零下一度四

煤煙防止紙上座談會（九）
煤煙防止の必要と方法及び對策（三）

滿洲國國務院需用局 河瀨壽美雄

燃燒に必要なる空氣

石炭一瓩を燃燒せしめるのに要する空氣量は石炭の位分に依つて一樣にはいきませんが大略六乃至八立方米でありますが一般に爐上では此の理論的な空氣量だけでは決して完全に石炭を燃燒せしむることは出來ないのでありまして手焚では約二倍を必要とし機械焚では一倍半位に減少できませう、此の空氣量は燃料經濟上大いに關係がありまして若し過多量の空氣を吸入せしめたならば熱量の大損失を起させるものであります

揮發物をよく燃やすと云ふことは一方よりすれば煤煙を防止することになり他よりはこの爲めに發量を增加することゝなりまして煤煙防止は燃燒効率を增進する事となり燃料の節約となるのであります

煙突は實にこの空氣を吸入させる重大な役割を受持つものでありまして煙や瓦斯を噴出させるだけの道具ではありませんそれで高さや太さの制限がありましていゝかげんのことを許さぬのであります

煤煙防止對策

煤煙防止の重大なる事は既に述べましたがこれを如何にして防滅するか如何なる方法で如何なる施設で其の目的を達成するかであります

先づ三大對策として人爲的方法、機械的方法、設備的方法に分けられませう

人爲的方法

先づ燃燒法の合理化でありまして工場又は大汽罐を取扱ふ個所では汽罐士の人格並に技能に委かせるより外ありません、又これは保安上にも關係する事でありますから日本では法令によりまして「汽罐士、汽罐手の免許を受けたる者にあらざれば汽罐の取扱に從事し又從事せしむることを得ず」としてあります又他の條項に「汽罐設置者又は使用者は左の各號により汽罐取扱主任者を選任すべし一、石炭一時間の最大消費量千五百瓩以上なるとき又は制限壓力十汽壓以上なるときは一級汽罐士 二、石炭一時間の最大消費量五百瓩以上又は制限壓力七汽壓以下なるときは一級若くは二級汽罐士 三、前各號以外の場合は汽罐士又は汽罐手」と定められておりましてこれ等各級の汽罐士は別に定められた法規によつて等級を得なければなりません汽罐取扱者で免許のいらない者は溫水罐で爐格面積合計〇・七平方米又は傳熱面積合計十四平方米以下で更に水頭壓の制限が付ておりますから新京の家屋に當はめて見ますと大略延面積約五百平方米（百五十坪）位迄は溫水煖房裝置をされても免許證は不要でありますが其れ以外の蒸汽煖房でも工場に類する物は勿論皆な免許を受けたそれ相當の汽罐士でなければ運轉を許可されない譯であります、此れは新京でこれ程研究を要しませうがこの位徹底させることも或は必要かもしれません、又市民共同の福利の爲めには不得止最後の斷案として煤煙防止規則並に汽罐取締規則を制定し之れを適用して公正な手段を講じなければならないのではなからうかと思はれます

大阪の煤煙防止規則では十三ケ條あります、其の中第二條 汽罐、窯、爐、營業用風呂爐 其他當廳に於て必要と認むる燃燒裝置の使用者は其の煙突より「リンゲルマン」煤煙濃度三度以上の煤煙を一時間に付計六分を超えて發散せしむべからず（圖面參照）燃料の點火及罐替其の他の爐掃除の場合に限り一時間に付計十分の限度となすことを得

とありましてこれを犯しますと拘留又は科料に處せられるのであります

リンゲルマン煤煙濃度表

0　I　II　III　IV　V

リンゲルマン煤煙濃度表――これは距離目を小さくして全體一樣の色になる樣にして見る

燃料の撰擇

理想として石炭を瓦斯又はコークス電力に替へて瓦斯又はコークス及電熱として用ひたならば全部解決するのでありませうが實際問題として不可能でありませうから燃燒設備及爐の構造に依つて之れに適應する石炭を適應する燃燒法で燃燒せしめる事でありまして家庭では揮發分の三八％もある塊炭より揮發分の少ない一〇％內外の塊炭かコークスを使用することが適當であると思ひます、石炭と塊炭との發熱量は同じ重量で約等しいものと見てかまひませんが御承知の通り塊炭の方が輕いのでありますから爐格面積の大きい罐つまり罐の比較的に大きいものを撰ばねばなりません、これだけの事でも煤煙はずつと防滅される筈であります

都山流特別演奏會
愈よあす開演
夜六時半より記念公會堂で

都山流特別演奏會は既報の如く都山流宗家主催の下に愈よ明夜六時半より記念公會堂において中尾都山師自らの司會によつて開催される、曲目は左の如く十二曲で尺八二部、三曲合奏、新三曲、尺八箏、管絃樂、尺八箏等を配した多彩なもので出演總人員八十余名の堂々たる陣容で内地斯界權威者の總出演あり更に贊助出演として新京市民オーケストラ團、箏曲師匠連の應援あり恐らく國都における最初の豪華演奏會として盛況を俟想せしめると共に多大の收穫を齎すものとして期待される

―プログラム―

一、八千代　尺八二部
二、砧　三曲合奏
三、遠砧　新三曲
四、萩の露　三曲合奏
五、春の惠　尺八箏
六、佐渡の印象　管絃樂
七、A秋の初花 B冬の初花　歌尺八諸曲
八、御代の祝　新三曲
九、御山獅子　三曲合奏
一〇、演奏會用練習曲　箏獨奏
一一、岩淸水　尺八獨奏
一二、變祝調　大管絃樂

神秘の町「西藏拉薩」に
映畫館出現

【東京國通】西藏の拉薩といへば「神聖な國の神聖な町」としてみだりに外國人の入國を許さず、映畫など穢はしいもの〻入國は勿論禁止されて居たが、今度ユナイテッド・アーチスツ印度支社の潛行運動が功を奏して活佛達頼喇嘛の許可を得、拉薩の町に西藏唯一の映畫館ができることになつた然し何しろヒマラヤの向ふの山岳重疊の彼方にある國のこと〻て映寫機一つ送るのもなか〳〵ではなく、近く携帶用の映寫機、フイルム等一揃ひを驢馬に積んでボンベイから拉薩に送りつけることになつた、さて西藏で最初に映畫される光榮を有するフイルムはダグラス・フエアバンクス氏の「世界一週」、海峽植民地のジャングル實寫映畫「サマラング」の三本、神秘の町に動く寫眞の神秘が持ちこまれて西藏も神秘の國でたくなる時は次第に近づいたわけだ

東和商事に既に正月映畫
「紅樓夢」入荷

ギリシヤ神話で有名な勇士アムフトリオンとジュピターの物語を、獨乙ウフアガ全力を擧げて映畫化した「紅樓夢」が、正月ものの第一番として東和商事へ入荷した、これはギリシヤの童話を、「桃源鄕」などと同じく徹底的に戲畫化したもので、天國の神ジュピターが、地上に現はれ、アムフトリオンに變裝して演じる奇想天外な物語、「桃源鄕」のウイリ・フリッチが「會議は踊る」以來の二役を演じ分け、新進女優ケーテ・ゴールド名二枚目ボウル・ケンプが助演し、當時ウフア隨一の人氣監督ラインホルト・シュンツレルが監督に當つてゐる

たか　PCLへ
五十鈴　太秦へ

日活、第一映畫とシネマ界を襲つた台風の餘波は銀幕界の麗人入江たか子と山田五十鈴の行方を模糊とつゝんでゐたが、この程二人の去就が確然とした、山田五十鈴は第一映畫から新興太秦入り、更生第一回作として西原孝監督で、淺香新八郎を相手役に長谷川伸作の『香掛時次郎』をとるこのシナリオは特に伊藤大輔が書卸すといふから相當興味が持たれるものだ、入江たか子は『栗山大膳』出演後、日活と手切れとなり、PCLに轉ずる事にきまり、二三本の作品が早くも豫定されてゐるが、それに先だちＰＣＬ時代劇『瀧口入道』の横笛を配役され、山中貞雄が監督する、この相手役には特に舞臺から市川猿之助が迎へられるとのうはさで、これが實現したら、邦畫陣に一異彩を添へる大作となるであらう

アジア大陸横斷
△佛パテー・ナタン映畫

フランス自動車王アンドレ・シトロエンの起したアジア探險隊の行動と經緯とを一九三一年―三三年にかけて記錄した映畫で、撮影監督には此の種映畫には經驗のあるアンドレ・ソーヴァージュが當り、カッチングには「ヴエルダン」のレオン・ポヴアリが擔當した、音樂伴奏にはシーフエル他二人が協力し、無電で連絡をとりつゝ天津ベイルートを夫々出發した探險隊が一方は北京、北支、內蒙古を經てゴビの沙漠を横斷、方やヒマラヤを越えて新疆省のカシヨルガに至り此處で双方落合ふまでの記錄が綴られる、長春座十三日より封切、寫眞はその一場面

▲「純喫茶」といつても、おチョウさん達が悶に固つて客の品定めをしてるお上品な空氣も、凡そ困るが▲喫茶店の看板を掲げ乍ら、來る客、來る客の側ににじり寄つて勝手な氣焔を吐き、唄をうたふ彼女らの所謂「サーヴイス」には、ほと〳〵甲を脫ぐ外ない▲「喫茶のネオンは灯してもお料理はみんなカフエー式になつてゐます」のださうで、「浪花節のレコードをかけ「一本たばこを貰ふわね」みたいなことになるのである▲何としても、純喫茶とカフエーの區別を徹底させるといふ當局にまつところは大きい

箱音

「おもかげ」は待望の作品、配するは「頑張れキヤグニー」「アジア大陸横斷」の二本、番組としては惡いものではない、此處としては久方振りの洋畫全プロ、宣傳も利いてゐるからい〻當りを見せやう▼「アジア大陸横斷」を市內學生のために特別公開するといふ試み、例によつて湯淺氏の映畫教育實踐の好ましい意向こと、當事者もこの熱意を無にしてはならぬ▼帝都の「一陽」長ブーリバーはいゝ入りを見せる、此の週は此の一本だけが吸引力であつた

水曜　十月十四日
己巳　八月廿九日
赤口
危
軫宿

●一白の人　氣を動かさず事心業務を勵みて內に在が吉
●二黑の人　坤と庚と艮が吉はんとす諸事愼重に盛運に向
●三碧の人　次第に努めよ申と壬と癸が吉天の助けある大
●四綠の人　吉日發展意の如くなるべし丙と丁と辛が吉
●五黃の人　平穩無事の日なりと雖も飲食注意なく病む
●六白の人　庚と辛と壬が吉盛衰の分れ日なり萬事に心を用ひ安全たれ
●七赤の人　巽と丙と坤が吉地位は低くとも運途壯にして希望計畫成る甲と申と戌が吉
●八白の人　分限を守り着實を失はざれば安全たるの日乙と戌と乾線吉
●九紫の人　運氣は吉なれど人に逆へば凶變する事あり甲と巳と坤が吉
思慮足らずして意外の困難に遭遇する凶日庚と辛と寅が吉

日滿實協總會採擇の十項の建議提出
十五日、四會頭新京に集合して

さきに新京に於て開催された日滿實業協會第四回總會で採擇された議案のうち、滿洲國政府其他に對し建議すべきもの十項目があつたが、これに關しその後實行方法協議されいよいよ十五日、大連、奉天哈爾濱及び新京の四商工會議所會頭が新京に集合、同日國務總理大臣及び財政部、實業部、交通部各大臣に對しその實現方を要望する事となつた右案件は次の十項目である

一、朝鮮樞要地に滿洲帝國商務官辦公處の設置
二、鮮人の滿洲移民事業の整理統一（以上朝鮮支部提出のもの）
三、日本海北鮮經由歐亞連絡交通路の完成（本部提出）
四、糧穀取引所に於ける營業に對して代理業の營業稅率適用
五、滿洲國輸入毛糸綿織物の關稅率改正
六、大豆の增産
七、消費組合法の制定
八、商工會議所法の制定を實施
九、工場財團法の制定
十、中小商工業特殊金融機關設置並に動産抵當制度の實施（以上滿洲支部提出）

“日濠紛爭で濠洲に大損害”
勞働黨副總裁、政府を論難

【東京國通】十二日確實なる筋への入電によれば去る九日濠洲下院で勞働黨副總裁フォード氏が

日濠紛爭は濠洲に年七百五十萬ポンドの損害を與へつゝある、即日本が羊毛セールに參加したならば一割五分方の値上りをみたはづなるに、交涉長引けば羊毛業者より財政的保護を要求されるであらう、オッタワ協定の改訂期が近づいてゐる際、明確なる代償を得ずして英國に多くを與ふるは愚策である、濠洲が日本に示したほど外國に敵意を示した國はない

と痛烈に政府を攻擊したところ、ガレット通商條約相はこれに對し大體從來の論旨を以て政府の政策を辯護したが、右答辯中フォード氏の演說は濠洲勞働者の利益に對する最大の裏切りであり日本の肩を持つものであると述べたゝめフォード氏は承知せずこれが取消しを要求したので兩者間に激烈なる論戰が展開され議場騷然たるものがあつた

上旬對外貿易概算
ー大藏省發表ー

【東京國通】大藏省發表ー上旬對外貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	七七、七三六
輸入	五八、七三四
合計	一三六、四七〇
出超	一九、〇〇二
一月以降累計入超	一九一、三四六

尙ほ同旬に於る軍要品輸出入額左の如し

△輸出	
小麥粉	二五〇
鑵罐詰食料	一八五
綿織糸	二、八六八

生糸	一三、八六八
綿織物	一三、九一一
絹織物	一、八九五
人絹織物	四、一五八
メリヤス製品	一、六一四
△輸入	
小麥	三九六
豆類	六八六
原油及重油	七一二
棉花	一一、六一〇
羊毛	一、二八四
鐵	六、三八一
機械類	二、一三一
木材	一、七六四

金融組合の貸付制限增額

關東州及南滿洲鐵道附屬地金融組合令施行規則中「組合令第五條第二項の組合に在りては一組合員に對する貸付及手形割引の總額は二千圓を超過することを得ず、但し不動産不動産上の權利、拂戾に付期限の定ある金融組合に對する預金證書、橫濱正金銀行の發行する銀行劵、國庫證劵又は大使の認可したる有價證劵若は債權を擔保とするときは五千圓迄を貸付することを得」とあつたが十二日付關東局令を以て右のうち五千圓の制限額は八千圓に改正された

滿鐵株拂の問題に事務當局反對
藏相の裁斷に俟つ外なし

【東京國通】軍部の主張する滿鐵株式の政府特殊未拂込徵收問題に對し大藏省では未だ正式に態度を決定するまでに至つてはゐないが、事務當局の意向としては左の如き理由により依然としてこれに反對で結局馬場藏相の裁斷にまつ外ないものとみられてゐる

一、大藏省としては對滿國策の遂行について從來つとめてこれを積極的に援助し對滿投資滿鐵の社債發行等に對しては出來る限りの援助を與へてきたがこの方針は今後も何等變るところはない

一、たゞ目下のわが財界の現狀に鑑み巨額の增稅を斷行するもなほ赤字公債の增發を餘儀なくされてゐる際更に滿鐵の未拂込株式徵收のため多額の公債を發行することは忍び得られるところでないから目下のところその實行は困難である

壺蘆島、十一月一日から埠頭營業を開始

【奉天國通】鐵道總局では滿洲港灣政策を確立すると共に渤海沿岸唯一の不凍港である壺蘆島築港計畫を樹立、明年度から五ケ年計畫を以て年二百萬噸吞吐を目標に工事に着手、明年二月滿洲國政府から開港場として正式に指定される運びとなつたので、總局では十一月一日から埠頭營業を開始、壺蘆島驛において直營業務を行ふ事となつた、尙應急設備の完成に依り同港物資吞吐能力は年六萬噸に達する

麥酒、洋紙の二業取締り嚴重化
ー重要産業統制法發動ー

【東京國通】改正重要産業統制法の第一回委員會は本月末又は來月上旬中に開かれる筈であるが之に附議さるべき重要議案としてトラストの指定を行ひ獨占企業の取締りを嚴にすべく當局は初めビール、洋紙、銑鐵の三種目をあげてゐたが銑鐵は日本製鐵會社に於て既に監督を充分行つて居るので銑鐵を除外、ビール、洋紙に限定する方針である

攻勢を要する日本貿易界（一）
ー過剩人口の商品轉化ー

最近我が對外貿易の前途に一抹の暗影あり、所謂ヤマが見えて來たと云ふ一部の悲觀論を耳にする、果して然りとすれば、貿易を國力發展の生命とする我國殊に國際孤立の非常時下の國民として看過し得ない重大な問題でなければならない。

だが、その前に我等は先づ我が貿易界の現狀を見て置かう。

好調の潮に乘つて、此處數年の間に我が産業界は異常なる躍進ぶりを示し對外貿易も之に伴つて振古未曾有の發展を遂げたことは、今更說くまでもあるまい。文字通りの世界三大强國の一として、日本民族の發展性をシンボライズする日本商品は、全世界的に脈動して、メード・イン・ニッポンが洪水の様に、世界市場を席捲するに至つたものである。

これは躍進日本の世界的地位向上と國力伸展を如實に物語るものでなければならないが、一面に於て世界驚異の的である科學日本の勝利を意味するものである。

今や地球上到るところ、メード イン・ジャパンをマークした商品が行き亘つてゐるエチオピアの宮殿深く日本製品が飾られてあると思へば、イタリーの東亞戰線では、遠征部隊を慰安するものが日本麥酒である、と云つた狀態である。

この驚異的發展の根本理由は何處に在るか。勿論爲替關係に惠まれ、聯盟脫退と云ふ非常時局の反映が利してゐることも爭へない事實である。

然し、も少し切實に、根本的なものを探れば、これは日本國情の必然的要求が然らしめたものと云はなければならない。

氾濫する人口、乏しい國內資源、それが齎らすものが國力の致命的缺陷であることは云ふを俟たない、漸く滿洲に血路を見出したとは云ふものゝ、從來次々にロック・アウトされた大陸移民の杜絕に困窮したことは國民の記憶に生々しい。

而も數年前までの日本は、乏しい資源の中から、原料品を輸出して精製品を輸入する立場に在つた、生糸を賣り絹製品を買つたのは一例である。

然るに今や、この地位は主客顚倒して原料品輸入、精製品の輸出國となり、而もその技術たるや天性の器用に加へて長足の進步を遂げ、歐米先進國を凌駕する域に到達したのである。到底、爲替關係といふやうな一偶發條件の然らしむるところではない。

換言すれば日本民族の生きんがための必然的歸結でなければならない。世界市場を睨する「メイド・イン・ジャパン」の氾濫はこの結論なのである。謂はば過剩人口の勞力を商品に轉化することゝ、確立された唯一の民族發展の活路なのだ（未完）

土建ニュース

▲大連機關區車庫職場及倉庫擴張工事　示談　千九百五十六圓四十八錢　今井組

▲大連檢車區電氣檢査所硫酸給裝置改築其他工事　落札　千百七十五圓　日笠製作所

▲入船町撤水給水塔及ポンプ室新築工事　落札　千九百三十圓　尙厚溫

▲石普間六八K八三八第五石河下線橋梁改築工事　落札　二千五十圓　志岐土木

二、〇〇〇、〇〇	井上組
二、一五〇、〇〇	三田組
二、一八〇、〇〇	松浦組

▲露西亞町防波堤一部修繕工事　特命　七百四十圓　福昌公司

●地方部

▲連京線四八ー附近上下線間切取法面張石工事　豫告工事　開札　十二日午前十時

▲鞍山鐵西道型道路築造工事　開札　十二日午前十時

▲榮町二、三、一社宅外二八戶疊修繕工事　豫特　一百四十六圓五十六錢　倉橋周三

▲霞町一、一、一社宅外八六戶疊修繕工事　豫特　四百二十圓　田中疊店

▲台山町練炭場外壁及天井ザラモソート張工事　豫特　二千一百十四圓二十錢　鈴木啓正

▲入船町煉炭工場排水其他工事　豫特　一百四十四圓五十錢　高岡組

▲伏見町一四、一六號社宅外三棟外部壁スタッコ塗替工事　豫特　三百六十九圓四十錢　草場組

▲本社第一分館建物壁ペンキ塗替工事　豫特　二千四百圓　門屋商店

▲直金町四三、一、社宅外二六九戶固定ペチカ塗替工事　豫特　二百五十六圓　光末淨行

▲新京驛構內車輛消毒裝置貯水防凍設備工事　豫特　百九十五圓　三田組

決定工事 ●新京保線區

▲新京大和ホテル新館機械室溫水槽修繕工事

三二〇、〇〇	今井
三五〇、〇〇	須田武雄
四六〇、〇〇	河村賴

▲南新京新京に上り線々路用地境界標增設工事　豫超に付き再入札

二六六、〇〇	高山組
三四六、〇〇	丸山組
三一一、〇〇	尙厚溫
三二〇、〇〇	戶田組

●新京事務局

▲櫻木町附近道形築造工事　豫超に付き再入札　落札　二千二百圓　尙厚溫

二、二〇〇、〇〇	昭和工務所
二、四〇三、〇〇	原組
二、四〇〇、〇〇	丸山組

▲新京綜合事務所自動車庫暖房給排水其他裝置工事　落札　二千九百圓　勝本組

三、一三〇、〇〇	河村賴
三、六六〇、〇〇	田中勝
三、三一〇、〇〇	齊度省三

▲甘井子發電所修理室改造工事　豫告工事　開札　十月十三日午前十時 ●□業公司

▲赤峰地方觀象台宿舍模樣替工事　開札　十月十三日午前十時 ●營繕需品局

▲西部衛生作業場自動車々庫及同修理場竝事務室增築工事　決定工事　開札　十月十四日午前十時 ●大連市役所

落札　一萬四千六百八十圓　坂井組

一五、三〇〇、〇〇	大平工務所
一五、四五〇、〇〇	古賀商會
一五、八〇〇、〇〇	田中工務所
一五、八五〇、〇〇	萩組
一六、〇〇〇、〇〇	共進組
一八、三五〇、〇〇	永濱組
一六、八五〇、〇〇	沖原組
一六、九〇〇、〇〇	中野辨三助
三、〇〇〇、〇〇	八夕工務所

●滿鐵大連鐵道事務所

▲入船町撤水給水所機器移轉据付其他工事　特命　八十四圓四十五錢　瀧村鐵工所

▲中央試驗所アミノ酸分解裝置据付工事　特命　一百二圓七十三錢

▲九塞驛南寄路線和曲線機移設工事　特命　五十…

▲大連保線區備新設工事　落札　二千…

▲南ー湯間二第四湯河橋工事　落札　一千…

▲金州市外三…　落札　二千…七錢

▲傳家甸正門及木柵改修工事　落札　一千七百十八圓　●哈爾濱市公署

二、六九六、〇〇	高組
二、六七六、〇〇	岡組

▲大道路幹線第一號東道一部舗裝工事　落札　一萬一千九百五十圓　福昌公司

三、六四八、〇〇	王子組
三、九九〇、〇〇	紀子夫組
五、一〇〇、〇〇	大二公司
二、四〇〇、〇〇	東昌公司
三、五三〇、〇〇	京城土木
三、九〇〇、〇〇	蔦井組
三、四〇〇、〇〇	日本舗道
二、四〇〇、〇〇	大同組

▲新開門附近地水工事　示談　一千四百五十圓　●吉林市公署　多田工務所

▲哈達灣木材防腐工場キャプスタン据附工事　單獨　一千三百九十七圓八十錢　龍久商會

銑鐵・鋼材・硫安等、滿洲に於ける生産手段生産部門の販賣機構の統一は成つた▲これによつてつくり出されたのは諸生産部門に對しての決定的な獨占的な販賣機構なのである▲そしてこの獨占進展がいはゆる準戰體制の一翼として流通過程を統一的に組織したところに、その現段階的意義が存する、市場組織の單一化は、戰時に於ける物價政策の物質的基礎をつくり出し、市場の混亂から惹起される生産への障害を防止するのだから▲「全日本的規模に於ける嵐の如き準戰體制確立過程」ーこのやうな言葉もさして震撼を與へない今日である、その過程に日滿經濟の結節點として立つものには今後にも推移變革があらう、滿鐵からの商事部の獨立は一つの先導的な例示である、新しい政治經濟的秩序、その圖式はグリンプスをあらはしつゝある▲漸く秋冷の冴え肌に來る

商況欄
（十月十三日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊	二〇片〇〇〇
同先限	二〇片〇〇〇
紐育銀塊	四弗六仙四分三
孟買銀塊	
米英爲替	
米日爲替	
米支爲替	
スチール株	休
アナゴンダ株	會
英日爲替	一志二片六四分三
英支爲替	一志二片三分一
印日爲替	七七留比二分一

▲米棉
現物　一二仙二一

奉天株式

東新、滿鐵新、二新、日產新、館新、滿取、東新、大新、6新、五品、豆新、鐘新、滿毛（寄・引　數値不鮮明）

上海爲替

金銀市況

各地株式市況

▲東京株式　▲大阪株式　▲大連株式

▲阪神日米爲替　▲阪神日英爲替

各地商品市況

▲大阪棉糸　▲大阪棉花　▲大阪人絹

各地特産市況

▲大連大豆　▲哈爾濱大豆　同高粱　同豆油　同豆粕　同小麥

新京取引所市況
（十月十三日前場）

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一ヶ月壹圓 一部五錢 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話〔編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇〇〕
發行人 十河榮男
編輯人 松本忠
印刷人 水越内之介

將來に對する保障と責任者の處罰を要求
東部國境不法事件に對し 外交部の抗議を手交

東部國境洋館坪ならびに第十二號界標附近におけるソ聯兵の不法射擊事件に對し、外交部當局では十二日現地よりの調査報告に基き直ちに北滿特派員施履本氏に對してソ聯駐哈總領事スラウツキー氏に嚴重抗議する樣訓電を發し十三日施特派員よりスラウツキー氏に對し責任者の處罰、並に將來の保障に關して抗議が爲された

富永中尉は戰死
死体はソ軍が運去る

【龍井國通】琿春監視隊よりの入報によれば、十二日午前馬滴達東南方國境線十二號界標附近においてソ軍と交戰中行方不明となつた富永中尉は戰死と判明、死体はその後極力搜査せるも發見にいたらずソ軍が運び去りたること確實となつた

"衝突事件の起因は滿軍の不法越境"
ソ聯、逆捻ぢ的抗議

【モスクワ十二日發國通】ソ聯外務人民委員部極東部長カズロフスキー氏は十二日夜酒匂代理大使の來訪を要請、十一日滿洲國東部國境二個所においてゲペウ隊と滿洲國國境警備隊とのあひだに發生した衝突事件につき逆ねぢ的抗議を提出

衝突事件は滿洲國國境警備隊の越境と不法射擊によるものだ

と强辯、犯人の處罰ならびに將來の保障を要求した

朝鮮軍司令部發表

【京城國通】朝鮮軍司令部發表

一、十一日滿ソ國境二ケ所における滿洲國々境監視隊とソ聯ゲ・ペ・ウとの衝突事件はその後間島省沙草坪附近は大なる變化なく彼我各國境線から一千米後方の位置に在りて依然對峙中なり

一、琿春縣馬滴達東南方十二號界標附近における彼我兩軍は國境線を挾んで對峙中であるが十一日午後の戰鬪に參加せる國境監視隊富永中尉は同戰鬪において戰死をとげた兵一名を搜査中十二日午前三時頃國境附近においてソ聯兵の射擊を受け戰死をとげ、その死體はソ聯領内に運び去られしものとみられる

尚ほ事件は外務當局において現地における狀況の判明をまつて外交々渉に移す筈であるが軍においては大體目下のところこれ以上擴大せざるものと觀測してゐる

諸外國の介入には斷乎排除の方針
桑島局長報告を基礎に 近く三省會議

【東京國通】十三日朝歸京した桑島東亞局長は直ちに外務省に登廳、有田外相に詳細報告したが政府は一兩日中に陸海、外務の三省會議を開き桑島東亞局長の齎した現地情勢の報告を基礎に重ねて協議をとげることゝなつた、しかして外務當局は日支交渉にあたり最も警戒を要すとせるものは諸外國の介入乃至無責任な放送でこれがために國民政府部內の歐米依存派にみすく乘ぜられる結果を招來し、折角川越、蔣兩氏會談によつて危機を脱し漸く軌道に乘らんとする交渉を阻害することゝなり、この點については國民政府に豫め充分注意を喚起しわが方においてもこれが排除に努める方針であり、近く行はれる三省會議においても本交渉の對策とゝもに充分協議されるものとみられる

"今後の日支關係 明か暗か斷言出來ぬ"
桑島局長歸京談

【東京國通】本省からの重大訓令を携へて南京に赴いた桑島東亞局長は十三日午前八時東京驛着列車で歸京したが、左の如く語る（寫眞は桑島局長）

私は通信の代役を勤めたゞけで支那側の人々とも會つて來ないので日支關係が現在如何なる局面に到達したかといふ具體的な話はしない、川越、蔣兩氏會見の結果は發表されたコムミュニケによつて諒解して貰ひたい、この兩者の

會見 を契機として緊迫して居た日支關係が果して好轉を見るに至つたか否か、又支那側に積極的な國交打開の誠意の有無は人々の見解の自由で私は未だ明暗何れとも斷言することを得ないのである川越、蔣兩氏第二次會見は如何なるプログラムで行はれるか私は聞いてゐない、この際一擧に速かな解決を圖るべきか、それとも時日を俟つて次第に話を進めて行くべきか、問題は今後にかゝつてゐる、兎も角上海における支那側の出様如何における在留邦人がテロ行爲に對して

極度 の恐怖を感じてゐるのは驚くべ

九ケ國條約發動說は全く事實無根
英外務當局より發表

【ロンドン十二日發國通】帝國大使館參事官富井周氏は十一日午前英國外務省を訪問、約四十五分間に亘り英國外務當局と懇談を遂げた、右會談後富井氏の訪問内容に關して英國外務當局は左の如く發表した

富井參事官は英國政府が最近の日支交渉問題に就き九ケ國條約を發動せしめたき意向あり、米國政府始め九ケ國條約調印國政府に對し打診を開始せりとの報道があるが、眞相は如何と說明を求めた、これに對し英國內務省側では斯る報道は全く事實無根なる旨を說明して置いた

英國外務省當局は本問題に對する最近の日本新聞紙の報道に關しては批評を差控へて居るが富井參事官に對しては日支問題に對する英國政府の意向を充分說明諒解を求めたるものと解される

援用說は虛傳
米政府も正式言明

【ワシントン十二日發國通】日支兩國の外交々渉開始直後イギリス政府が九ケ國條約の發動につき締結各國政府の意向を打診したとの報道につきアメリカ國務省當局は十二日左の如く言明した

日本政府が支那に對し一定の條件を提出した爲めイギリス政府が九ケ國條約の援用を企圖したと傳へられるが、アメリカ政府は九ケ國條約のいづれの締約國からも以上日本政府に對する抗議に參加方を要請された事實はない

猛烈な颱風 呂宋地方を襲ふ

【マニラ十二日發國通】呂宋地方を襲つた颱風は十日午後に至つて益々猛威を逞ふし、同地方各河川氾濫して住民は悉く屋上又は木の上に避難し悲慘を極めてゐる、十一日現在までに判明した死者はカバナツーン地方のみで百二十名に達した、ケソン大統領は國民救濟委員會を緊急召集、差當り陸軍から飛行機を出動せしめ調査及び食料輸送に着手したが、何れにせよ陸上交通は全く杜絕してゐるので、救濟事業遂行に多大の不便を感じてゐる

鐵道綜合經營の本格的活動へ
鐵道總局の根本方針確立す

【奉天國通】鐵道總局においては十月一日開設とゝもに鐵道部、鐵路總局並に建設局の全滿鐵道機構の奉天移轉を完了、業務整理に忙殺されてゐたが、いよく各機關の陣容整ひ鐵道中央統制機關として本格的活動を開始すべく從來の鐵道經營方針に再檢討を加へ、綜合經營の根本方針の確立を期することゝなつた、即ち總局として速急に樹立すべき重大懸案は左の如きものである

一、新財政五ケ年計畫
二、鐵道一元化に伴ふ全滿鐵道單一運賃制定
三、背後地產業積極開發
四、第四次新線計畫
五、既設鐵道の改良並に復線化
六、自動車路線の整備
七、港灣河川水運の整備

鐵道總局豫算
本月末までに編成

【奉天國通】鐵道總局明年度豫算は目下經理局において鐵道部ならびに總局で編成した豫算案に再檢討を加へつゝあり遲くも本月末までには審議を完了する豫定である、しかして鐵道總局會計は社線並に國線の特殊性に基き社線國線に分離獨立せしめることになつてゐるが、兩會計とも營業費の節減をはかるため國線にあつては五パーセント、社線にあつは十パーセントの削減を斷行するはずで、事業費にあつては國線三千五百萬圓、社線二千萬圓に緊縮する方針をとり、產業開發培養線としての本質に基き線路輸送量の增加を目標に車輛の新造並に鐵道通信機關の改善充實に主力を注ぐ方針である、尙港灣關係事業費にあつては壺蘆島築港計畫着手による新規事業の增加あるのみで本年度と大差なく、また社線事業費二千萬圓は社內保有金をもつて充當する豫定で、滿洲鐵道の特殊性による新車輛增設方面の資金は別途に考慮されてゐる

大村總局長談

【奉天國通】鐵道總局ではいよく本格的に全滿鐵道の綜合經營に乘りだし綜合經營方針の樹立を急いでゐるが、右につき大村鐵道總局長は語る

鐵道總局の營業方針は如何にして社、國線綜合經營の實を擧げるかにあるわけで目下鋭意研究中である、要は鐵道機構統制により社、國線の經費節減を行ひ國線を將來財政的に獨立自營せしめるための積極的營業方針を速急に確立することにある、明年度豫算は目下總局經理局で再編成中であるが滿鐵財政の實情に則り堅實を本位とし、緊縮方針をもつて臨み機構一元化による經費削減の實績を擧げたいと考へてゐる

大村副總裁 十四日新京へ

【奉天國通】大村滿鐵副總裁は十五日新京で開催される關東軍、滿鐵、滿洲國首腦部の懇談會に出席のため十四日午後一時四十七分奉天發あじあで新京に向ふ、なほ氏は右懇談會終了後鐵道總局長として管下各線巡視のため十七日午前九時新京發京白線經由白城子を皮切りに約廿日間の豫定で各地視察の上、來月四日午後四時四十五分奉天着あじあで歸任の豫定

佐藤理事等 あす來京

滿鐵職制改革後の事業其他につき當局と打ち合せのため佐藤理事は十五日午前六時、郡山、中西兩理事は同日午前九時十分着列車で夫々來京の豫定である、なほ前理事河本大作氏も同列車で來京する

滿洲輕金屬會社の設立要綱案可決
きのふの經濟共同委員會で

關東軍發表＝第十回日滿經濟共同委員會は十三日關東軍司令部にて開催せられ、滿洲國政府より諮問ありたる滿洲輕金屬製造株式會社設立要綱案を審議可決し、滿洲に賦存する礬土頁岩を利用し優良低廉なるアルミニユームの生產を目的とする日滿合辦の滿洲國特殊法人滿洲輕金屬製造株式會社を設立すること然る可き旨答申することゝなつた

資本金は二千五百萬圓

なほ同社は撫順に本社を置き資本金二千五百萬圓（四分の一拂込）で、その割當ては滿鐵千四百萬圓、內地側百萬圓、滿洲國政府千萬圓、生產額年四千噸の豫定であるが、同社製品には內地輸入稅に特別の考慮が拂はれるはずである

國際勞働總會代表に 長岡信捷氏

【東京國通】閣議決定事項

週信書記官 長岡信捷
瑞西國ジユネーヴにおいて開催の第二十一回及び第二十二回國際勞働總會における政府代表委員仰付けらる
稅關事務官 谷岡勝美
任門司稅關長
門司稅關長 井川忠雄
依願免本官
農林省水產局長 原辰二
拓務次官 入江海平
昇叙高等官一等（各通）

漢口侮日兩事件 犯人逮捕に懸賞金

【漢口國通】去る九月十九日日本租界において發生した吉岡巡查狙擊事件の眞犯人がまだ逮捕されない矢先またまた思明堂藥房に爆彈投擲事件が發生したので湖北綏靖公署および湖北省政府は犯人を嚴探するとともに十二日佈告を發して眞犯人の逮捕に懸賞金を附した

一、吉岡事件の眞犯人逮捕者に五千元
二、思明堂藥房爆彈投擲事件の眞犯人逮捕者に三千元
三、犯人の密告者にはその半額の懸賞金を附す

きで、なんとかして一日も早くこの不快感から逃れたいものであるが、その絕滅はちよつと期し難いやうだ支那有力二十一紙連名で日支和平の叫びをあげたが、これは蔣介石氏の眞意の表示とみてよからうと思ふ

閣議決定事項

十三日國務院會議に於ける決定事項

一、滿洲生命保險株式會社法
二、滿洲計器股份有限公司法
三、人事
哈爾濱稅關副稅關長 江原綱一
轉任哈爾濱特別市公署總務處長敍簡任二等
國道局總務處長 大迫幸男
轉任間島省總務廳長敍簡任二等
哈爾濱特別市公署工務處長兼總務處長 佐藤俊久
免兼官

全滿商議採擇 議案實現を政府に要望

去る五、六の兩日に亘り大連にて開催せられた第二十九回全滿商工會議所聯合會にて審議された二十一議案の中第九號滿洲國治外法權撤廢に依る行政、警察其他の諸機關の移讓に際しては充分なる用意を以つて圓滑完全に行はるゝ樣要望の件（安東提出）及び第十六號治安維持の普及徹底に關する件（奉天提出）を除くの外は夫々採擇せられ當局にこれが實現方を要望することゝなつてゐたが、これが實行方法については來る十五日大連、奉天、哈爾濱の各商議會頭の來京を待つて新京商議會頭とともに政府方面に折衝することゝなつた

地方委員懇談會 十五日開催

滿鐵新京地區地方委員懇談會は十五日午後一時から事務局會議室に於て開催する

人事往來

（來京）
▲小島登氏（滿鐵）同國都ホテル
▲江崎泉氏（同）同
▲山口武吉氏（三和鑛業）同
▲小林克氏（會社員）同中央ホテル
▲沖津良郎氏（綏芬河領事）同
▲後藤祿郎氏（ハイラル領事）同
▲高田國彥氏（會社員）同
▲杉苗幸雄（同）同
▲田中淵氏（滿鐵）同
▲田中孝平氏（同）同
▲清野謙氏（會社員）同

（出發）
▲孫徵電々副社長 十三日午後一時十分大連へ
▲江木富夫氏 同奉天へ
▲三村裕助氏 同
▲秋山清一氏 同哈市へ
▲高山常吾氏 同大連へ
▲八木保太郎氏 同
▲廣谷誠次郎氏 同吉林へ

航空往來

▲鈴木芬氏（商業）十三日ハルビンより
▲三輪常次郎氏（同）同
▲代田幹三氏（帝都キネマ）同ハルビンへ
▲秋山誠一氏（會社員）同
▲芝崎文夫氏（請負業）同吉林へ
▲谷本誠氏（中央氣象台長）同京城より

日曜

鮎川日產社長、森コンツエルンの總帥森 昶氏と日本實業界の巨頭が相ついで渡滿▲更に實業界の大立物安川雄之助氏は松岡滿鐵總裁の招待で十三日來京した▲同氏は今までの滿洲に對する認識も豫備智識も全然すてゝ全くの白紙で滿洲を見やうといふ▲視察の結果報告こそ滿洲產業の開發の鍵となるもので我等は多大の期待をかけるものだ▲歐亞連絡會議に出席した、宇佐美旅客課長一行が歸任した、その歸朝談によれば▲歐洲各國の滿洲に對する關心はたいしたものだといふ▲全世界の囂々たる非難のうちに日本が滿洲國を承認して漸く五年▲今や歐洲各國がなぜ滿洲國を承認しなかつたかを悔ひてゐることを思へば愉快に堪へぬ▲逝く秋にそゞろ物の淋しさを覺へるとき白晝國都の住宅街で强盜騷ぎ留守を預るご夫人方の注意が肝要

社說　國際經濟會議と日本　積極的な方策の提唱へ

一

フラン貨の平價切下を契機として國際經濟會議開催の機運が濃厚となつて來たことは先般來報道されてゐた。日本に於いては外務當局が、商務官を大阪に派遣して關西經濟界の意向を徴したり、また大藏省側と對策を研究したりして來たが、主催國から正式に招請があれば、その內容を檢討した上、會議參加の回答を發するといふ根本方針を內定したと傳へられてゐる。來るべきこの國際經濟會議に於いて、どのやうな問題が中心となるであらうかはほゞ推察出來るところである。それにはフラン切下と同時に發表された英米佛の三國通貨協定が基礎となつて通貨安定、貿易障碍除去の兩問題が中心となるであらう。

二

通貨安定の問題に關して、英、米、佛等の關係筋では、日本の對英一志二片の爲替レートが低過ぎると指摘し、一志五片乃至六片程度に安定せしめやうとの意向を持つてゐると觀測される。爲替レートの引上は直ちに日本の輸出力に影響して來る。このため寧ろ會議參加を拒否すべしとの反對論もあつた。しかし、徒らに國際的孤立に陷ることは不得策であり、在外爲替資金を設定して單獨に爲替安定を圖ることも困難である。故に爲替管理、輸入割當制等の貿易障碍が除去され、關稅引下資源の開放等の條件が容れられるならば或る程度の爲替レート引上も已むを得ぬであらうとするのが到達された結論と見られる。

三

思ふに通貨安定、貿易障碍といふ如き問題の範圍にとゞまらず、積極的に世界資源の公平自由なる分配を提唱することが日本にとつてまさになすべきところではないであらうか。單純な自由通商では平和樹立に役立ち得ぬ。資源原料の不公平は是正されないからである。今日の經濟的國民主義が緩和され、通商の自由が恢復されても、分配といふことについての客觀的事情が今日の儘であつては外國への依存は減退せず、一朝事ある時への危惧は去らない。また再び今日のやうな極端な自給自足主義の動向に復歸するであらう。膨脹と躍進との契機をはらんでゐる日本のやうな國家は、今日の如き世界の資源構成そのものの改造に世界の歩調を進めて行かねばならぬのである。資源の再分配といふことは國際的に利害關係の大きい問題である。世界資源の公平妥當なる分配、それが世界の平和を脅威する原因を除去するものであることを闡明する積極的な建設的な日本の國際政策が樹立されねばならぬ。

貿易行政統制の　貿易審議會設置
外務側より近く具體案提出

【東京國通】貿易行政機構改善に關しては外務、商工兩省の意見對立のため其の解決は廣田首相の政治的裁定によることゝなつてゐたが、首相は十二日小川商相に對し同裁定案として商工省の外局として大貿易局案を示し商相の考慮を求めた、同案は大體において商工省案たる大貿易局案の骨子をとつて立案されたものであるが、これに對し外務省側の意向は絕對反對でかゝる不徹底なる改革案では到底所期の目的を達し難いとしてゐる、即ち

我國貿易行政機構の最大缺陷は貿易事務が商工、農林外務、大藏、拓務の各省に分散して行はれ、これを統制する機關を有しない結果各省間の對立する意見調整の道なく、ひいて貿易の發展を阻害する點にある、然るに今回の裁定案は此の點を全然考慮せざる案で改善案とは稱し難い

といふにある、かく外務省としては愈よ對案提出の必要に迫られたので近く有田外相より首相に右具體案を提示するが、その眼目は貿易行政に關する現機構の上にこれを統制する貿易審議會を設けること

同審議會は內閣直屬にして首相を會長とし委員は商工、外務、農林、大藏、拓務の各省關係官及び民間當業者より任命し關稅の改廢、輸出入の統制、その他重要事項を審議し關係各省間の對立意見を調整しこれによつて貿易行政の一元化に等しき效果をあげんとするものであると

貿易局機構改革問題　外商兩省意見一致
調査局原案に基き折衷案作成

【東京國通】小川商相は十二日午前廣田首相と會見、貿易局の機構改革問題に對しては豫て外務、商工兩當局間に意見の相違あり、小川商相より首相の調停乘出しを懇望慫慂するところあつた、仍つて廣田首相は外務當局の意向を確めたところ貿易行政の一元化を圖ることに關しては原則的に兩省の意見が一致してゐることが明瞭となつたので首相は更に調査局に對し貿易局外局制に關する調査を命じたので、調査局では商工省原案並にこれに對する外務省の反對意見等を參酌して目下妥協案を作成中であるが、近く折衷案が出來上る見込がついたので、右折衷案の作成を俟つて廣田首相が何分の裁定を下すものと見られるに至つた

右の折衷案は大體外務、商工共管案で商工省案に大分近いものと想像され、明年度豫算編成前に最後的決定を見る筈である

產業別統制委員會設置案　大阪商議建議

【大阪國通】大阪商工會議所では十二日工業貿易聯合委員會を開き、曩に小委員會で決定を見た貿易統制に關する左の建議案を可決、近く當局に建議することゝなつた、建議案の概要左の如し

貿易對策確立については海外貿易調整並に振興の大局的見地よりすれば輸入業者を以てする輸入組合法を制定し同時に統制については輸出業、輸入業、生產業三者間の協調を圖るため政府當局、當該業者の代表及び必要なる場合には政府の任命する公平なる第三者を加へた產業別統制委員會を設け以て諸般の問題の裁定に當らしむるを適當と認む、仍つて政府は之が立案方につき考慮せられんことを望む

スペイン大統領　金銀貨、金銀塊　輸出禁止

【東京國通】在スペイン高岡公使館二等書記官より十日外務省に達した公電に依れば、三日附公布の大統領令を以て國庫增收、經濟再建のため同令公布の日から金銀貨、金銀塊及び金銀を包含する銅塊の輸出を禁止し、特に輸出を行ふときは大藏省の許可を必要とし又旅行者は四ペセタ以上銀の國外搬出を禁ずる旨を公布した、又同日附を以て四日から七日以內に金貨、金塊並に凡有る種類の外國株券及び有價證券をスペイン銀行に引渡すべき大統領令も公布された

左近司社長　卅日歸京

【東京國通】北樺太油田試掘權延長を交涉のため去る六月中旬東京驛發モスクワに赴いた北樺太石油社長左近司中將は同交涉が成立し、去る十日正式調印を了したので愈よ來る十五日モスクワを出發、シベリア經由歸朝の途につき三十日東京に到着することゝなつた旨十二日北樺太石油本社へ入電があつた

ソ聯の外交に對する　タン紙の論調

【パリ十一日發國通】フランス外務省機關タン紙は九、十、十一の三日間にわたりソヴィエト聯邦の外交政策を論じ次の如く述べてゐる

ソヴィエト政府は英佛兩國を瞞つて自國と共にファシスト獨裁國に對抗させせようとしてゐるが右政策により歐洲は二大ブロックに對立し畢竟戰爭を招來するおそれあり危險極まりない

殊に十一日の社說の如き「ソヴィエト聯邦の政策は何を目的とするか」と題し率直に左の如く述べてゐる

ソヴィエト政府はドイツ政府の獨裁的信條における如く革命的信條に自らひきづられて歐洲を二個のブロックに分立させやうと欲してゐるらしい、ソヴィエト政府の政策は公式の聲明にも拘らず實際には共產主義革命の精神が浸潤して居り共產主義の行動はナチスドイツに對する反感で支配され、その政策は英佛兩國を瞞つてソヴィエト聯邦と共にファシスト獨裁國家に對抗させるにある不干涉協定委員會は先づ事なく濟んだがソヴィエト政府策動の眞意は不干涉協定廢棄のみならず獨伊兩國との交涉及び協力を排擊するにあるから意義極めて重大である

關東局施政概觀 (10)

無盡會社（昭和十年十二月末金國幣合計）

昭和二年七月無盡業令が施行されてから營業免許を與へたものは第一（大連）蓬萊（大連）旅順（旅順）共信（本溪湖）撫順（撫順）奉天（奉天）泰信（新京）安東晝夜（安東）安信（安東）の九無盡會社であつて給付金契約高一千六十七萬圓、掛金契約高一千八十八萬圓である

金融組合

當局は中小商工業者の小口金融の硬塞を緩和する爲相互扶助を精神として昭和三年金融組合令制定と共に大連、沙河口、旅順、奉天の四箇所に金融組合を設立し、又昭和四年度以降に於て滿鐵沿線市街地瓦房店、大石橋、營口、鞍山遼陽、開原、鐵嶺、四平街、公主嶺、新京、撫順及び安東各地に都市金融組合及び哈爾濱に新京金融組合支所を設立した

尙組合の業務指導、資金調節機關として滿洲金融組合聯合會を設立して其の發展に遺憾なきを期して居る

而して之等金融組合に對し國費及び關東州地方費から無利息資金百萬圓を貸下げると共に毎年度の經費の一部又は全部を補助する等極力其の助成に努めた結果、其の業績は大體に於て順調なる發達を遂げつゝある

昭和六年度以降大連、奉天、沙河口、旅順、撫順、大石橋營口、新京、鞍山、四平街、鐵嶺の各組合は漸次財政的獨立の域に達した、右の外州內の農村に對しても數年前より村落金融組合を設立せしめ現在五組合あり其の成績良好であつて各組合共既に獨立自營の域に達して居る

昭和十一年六月末現在

區分	村落金融組合	都市金融組合
組合數	五	一六、支所一
組合員數	七、八九三	六、三三七
出資金（拂込濟）	九三、九二〇	八三七、九二六
貸付金	二、一六五、二四八	五、六八〇、三七五
預り金	二、六六二、七二三	三、七六三、七六八

組合員の出資金額を村落金融組合に在つては一口十圓、都市金融組合に在つては一口五十圓である

海事

海務局は大連に、支局は旅順甘井子及び普蘭店にあつて港務、航空標識、檢疫、船舶檢査、測度、船員の公認、認證等海事全般の事務を掌る

州內の開港は大連、旅順及び昭和八年十月開港の普蘭店の三港であつて他は船舶の出入に便利でないのみでなく日本船舶以外の船舶は特許を受けた場合の外出入し得ない事となつてゐる

關東州置籍船は昭和十年末現在汽船百十九隻、帆船二百十二隻、計三百三十一隻（總噸數二十四萬八千四百七十八噸）である

船舶職員及び水先人の懲戒については海務局內に懲戒委員會を置いて全權大使の任命せる委員長以下委員がその審理裁決を爲すのである、水先制度は大連、旅順、普蘭店の三港共に強制水先制度であつて關東州水先規則に依つて一定の資格を有する者で且つ水先人試驗に合格した者を水先人とし、その定員を旅順港二人大連港八人、普蘭店港二人と定め水先人組合を組織して水先業務を行ひつゝある、各港汽船出入現況左の如し

港		隻數	船客數
△大連	入港	五、一〇九	四一三、八九〇
	出港	五、〇九八	三二四、〇一三
△旅順	入港	二九一	一〇
	出港	二七六	二〇
△普蘭店	入港	二六三	五一六
	出港	二六七	九七七

遞信及び航空

往年野戰郵便を繼承した當時僅かに四十に過ぎなかつた郵便機關は今や內外合せて二百三十餘、郵便引受數一億五千萬通、郵便貯金現在高四千八百餘萬圓を算するに至り、その間荒漠蕪雜の關東州及び滿鐵沿線は滿洲に於る一大經濟文化の中心地と化した

（昭和十年十二月末）

郵便局	三三
同出張所	五
郵便所	五〇
郵便取扱所	一四六
貯金管理所	二
計	二三六

（昭和九年度）

	通常郵便	小包郵便
引受	一三三、四六二、三一三	八四一、八二三
配達	一三一、〇〇四、一七六	一、七九〇、四八三

電信	發信	三、七一四、四四一
	着信	三、四三一、七八一
電話	加入者數	二七、二六七
	通話度數	四三、三二三、三三三
郵便貯金	預入人員	四七三、〇八三
	貯金現在	四〇、八七三、九六四
簡易生命保險（契約現在）	件數	一八三、七四八
	保險料	一、七七〇、三三二
	保險金	三三、八三一、八六一

昭和八年九月電信電話事業は卅年の輝く歷史を殘して關東局より分離し日滿合辦滿洲電信電話株式會社に移管せられ又管內の電氣事業は從來の對立關係を一擲して兩國當業者の合同に依る滿洲電業股份有限公司の實現を見た、更に昭和十年十二月日滿郵便條約の締結は郵便及び爲替の機能を全滿に擴充することとなつた

管內の航空は日本航空輸送株式會社の內地大連間と滿洲航空株式會社の管內各地間の定期航空がある

南滿洲鐵道株式會社

一、公稱資本金　八億圓
一、創立年月日　明治卅九年十二月廿六日
一、營業開始　明治四十年四月一日
一、營業目的　鐵道業　旅館業　港灣業　鑛業　倉庫業　土地及び家屋の經營　其他政府の許可を得たる營業
一、滿鐵線　一、一二九粁一
一、滿洲國線　七、三三九粁
　內廢軌線　一、四八七粁七
一、滿鐵線運輸營業成績（昭和十年度）
イ、總收入　一三四、六六六千餘圓
　（內譯）客車收入　三三、四二三千餘圓
　貨車收入　一〇一、三六二千餘圓
　倉庫收入　一〇〇千餘圓
　諸口收入　八、八〇八千餘圓
ロ、總支出　五〇、〇五五千餘圓
　（內譯）總係費　二、九二二千餘圓
　運輸費　八、一二五千餘圓
　修車費　一二、二七千餘圓
　保存費　五、九五七千餘圓
　償却費　八、〇三三千餘圓
　除却費　四、八五七千餘圓
　別途給與費　一、〇六〇千餘圓
ハ、差引益　八四、〇四〇千餘圓

壺蘆島の碼頭營業を廢止

【大連國通】從來設備不備の爲め船舶荷主の自由作業を認めてゐた壺蘆島における碼頭營業は來る十一月一日より廢止する旨十一日滿鐵社報を以て發表した

松井資源局長　滿洲へ

【東京國通】松井資源局長官は滿洲並に北支の狀況視察のため秋田屬を帶同、十二日午後十一時東京驛發朝鮮經由渡滿の途に就き十一月中旬歸京の豫定である

滿洲國在日留學生　現地指導協議會　大綱方針を決定す

【東京國通】滿洲國在日留學生の指導方針に關しては既報の如く大綱決定したのでこれが實現に關し日本側に協力を求むべき細目につき前日に引續き十二日午後一時より駐日滿洲國大使館に於て現地協議會を開催協議の結果左の如き事項を要望することに決定、來る十五日大使館において開かれる日滿關係代表者會議に提出することゝなつた

一、本國政府より留學認可を受けたるものにして駐日大使館より下附の入學紹介書を有せざる滿洲國人に對しては入學を許可せざること
一、滿洲國留學生にして留學の認可を取消されたるときは退學を命ぜられたきこと
一、滿洲國留學生の教育訓練に關しては日本學生と同樣に取扱はれたきこと、但し語學の關係より入學又は進級に關し幾分の斟酌を加へられる事は差支へなきこと
一、滿洲國留學生に對しては必ず學校教練を受けしむること
一、滿洲國留學生は在學する學校において留日學生分會を組織し學生主事又は學生監をもつて分會長となすこと
一、滿洲國留學生に對する文化事業部の補助費生選拔其他に關しては滿洲國政府と充分なる連絡をとられたきこと

留日學生會　大運動會を擧行

【東京國通】滿洲國留日學生會では大使館と共同主催で昨年第一回留日學生大運動會を擧行好成績をおさめたので、本年も來る十七日留日學生會館、滿洲國協和會の後援のもとに陸軍戸山學校運動場において第二回大運動會を開催することゝなつた、當日は「スポーツ滿洲國」の第一線に活躍する若き男女學徒千數百名が參加し秋の一日をスポーツと懇親に過すことゝなつてをり、留學生は各學校毎にそれぞれ猛練習をつゞけてゐる

南嶺中央觀象台　落成開廳式

新京南嶺に新築中の中央觀象台廳舍完成、來る十七日午後一時落成式並に開廳式を擧行することゝなり日滿各界に案內狀が送られた

新京協拓農場　菊花即賣會

新京郊外孟家橋新京協拓農場後藤清治氏は滿鐵新京事務局社會係の後援で二十四日二十五日兩日記念公會堂で菊花即賣展覽會を催す、種類は大輪懸崖造り等二百餘鉢で價格は一圓以上五圓までゝある

法然上人讃仰會

曙町淨土宗長春寺では十四日午後七時から恒例により法然上人讃仰會の座談會を催す尙朝詣りは五時半から、茶の湯稽古は毎日曜日午前中行ふから希望の方は申込まれたしと

阪谷理事けふ來京

滿鐵職制改革による初代產業部長に就任した理事阪谷希一氏は關東軍滿洲國關係方面に挨拶を兼ね事務打合せのため十四日午前七時十分着列車で來京する

松島司長朝陽へ

實業部松島農務司長は朝陽緬羊改良場の開場式に參列のため來る十七日出發の豫定

金月潭氏本社來訪

皇軍慰問のため彩管を擔つて渡滿した書畫家金月潭氏は十三日午前本社へ挨拶に來訪した

野村菊之助氏

【西ノ宮國通】大日本紡績取締役兼研究課長野村菊之助氏は豫て直腸癌を病み西ノ宮の自邸で療養中、十一日午後八時廿分遂に死去した、享年五十四

商況欄（十月十三日後場）

海外經濟電報

株式相場

▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品	一五、四〇	一五、五〇
豆新	三〇、九〇	三〇、九〇
錢鈔	一七、五〇	一七、五〇
東新	一三七、五〇	一三七、五〇
滿鐵	六三、四〇	六三、四〇
二新	—	三九、四〇
日鹽	八三、五〇	八三、五〇
鐘新	一八〇、一〇	一八〇、五〇

▲奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	一二、六〇	—
東新	一三七、七〇	一三七、八〇
大新	七一、七〇	—
日產	八三、四〇	八三、六〇
鐘新	一八〇、六〇	—
五品	一五、八〇	—
豆新	三〇、九〇	—
二甲	—	—
電拓	三六、五〇	—
東興	三七、二〇	—
滿毛	三三、二〇	—
優先	二四、一〇	—
日畜	七三、一〇	—

各地商品市況

▲橫濱生絲

	寄付	大引
現物	—	—
當限	七二七、〇〇	—
先限	七二五、〇〇	—

新京取引市況（十月十三日後場）

現物（一石値段）

	寄	引	出來高
大豆	一八、七〇	—	二車
高粱	—	—	—
小豆	一九、〇〇	—	一車
玉蜀黍	—	—	—

定期（混合百斤値段）

		値段	出來高
大豆	十月限	五、五三	二四車
	十一月限	五、三四	四〇車
高粱	十月限	—	—
	十一月限	—	—

手形交換高（十三日）

	枚數	金額
金票	六一七枚	三三七、八六四八
鈔票	—	—
國幣	二六八枚	一四八七、〇二四

鮮魚小賣相場（十三日）百匁に付

品名	最高	最低
活鯛	八八	五八
氷鯛	…	…
小鯛	四二	三六
連子鯛	…	…
チヌ鯛	三六	二八
アマ鯛	二四	…
イセエビ	八四	七二
車エビ	八四	…
ブリ	[illegible]	[illegible]
ヒラス	[illegible]	[illegible]
マナ	[illegible]	[illegible]
鮭	[illegible]	[illegible]
黑鯛	[illegible]	[illegible]
マグロ	[illegible]	[illegible]
カツオ	[illegible]	[illegible]
サハラ	[illegible]	[illegible]
スズキ	[illegible]	[illegible]
赤ムツ	[illegible]	[illegible]
ニベ	[illegible]	[illegible]
サバ	[illegible]	[illegible]
アジ	[illegible]	[illegible]
メバル	[illegible]	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]
コチ	[illegible]	[illegible]
コノシロ	[illegible]	[illegible]
ホーボー	[illegible]	[illegible]
ボラ	[illegible]	[illegible]
キス	[illegible]	[illegible]
サヨリ	[illegible]	[illegible]
タコ	[illegible]	[illegible]
水蛸	[illegible]	[illegible]
飯蛸	[illegible]	[illegible]
カニ	[illegible]	[illegible]
小エビ	[illegible]	[illegible]
カレイ	[illegible]	[illegible]
タイラギ	[illegible]	[illegible]
イカ	[illegible]	[illegible]
甲イカ	[illegible]	[illegible]
アナゴ	[illegible]	[illegible]
アワビ	[illegible]	[illegible]
クロナマコ	[illegible]	[illegible]
貝柱	[illegible]	[illegible]
シジミ	[illegible]	[illegible]
ハマグリ	[illegible]	[illegible]
カキ	[illegible]	[illegible]
ウナギ	[illegible]	[illegible]
ニベ（切身）	[illegible]	[illegible]
ブリ	[illegible]	[illegible]
サワラ	[illegible]	[illegible]

野菜小賣相場（十三日）百匁に付き

品名	最高	最低
馬鈴薯	四	[illegible]
里芋	八	[illegible]
赤芽芋	…	…
山芋	一五	[illegible]
甘藷	五	[illegible]
ツクネ芋	二五	[illegible]
クワイ	[illegible]	[illegible]
蓮根	[illegible]	[illegible]
胡瓜	[illegible]	[illegible]
南瓜	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]

重要產業統制法の外地適用實現
朝鮮總督府の同意で來月中に

【東京國通】重要產業統制法の外地適用問題は朝鮮總督府が朝鮮の特殊事情を理由として反對的意圖を包藏してゐたため行惱みの狀態にあつたので、小川商相は朝鮮總督の更迭を機に過般南總督に對し文書を以て統制法の外地施行が刻下の急務なる旨を傳達促進に努めた結果最近に至つて朝鮮側の態度著しく緩和し、林財務局長、石田殖產局鑛山課長は十二日午後官邸に小川商相を訪問、統制法の外地適用に對し同意を表明、可及的速かに諸般の手續きをとる旨を表明した、これによつて去る特別議會以來の懸案も根本的障害は全く除去され、殘るは法律上の手續きのみとなつたので商工拓務兩省間の打合せさへ順調に進めば十一月中には外地施行の實現を見るのではないかと思はれる

ハルビンの孔子降誕祭

【哈爾濱國通】ハルビンの降誕祭は十二日午前九時から省公署教育廳主催のもとに郊外文廟祭場で市內各小學校生徒及び日滿各關係者を招待、嚴肅かつ盛大に擧行された、なほ市內各官廳會社は一齊に休業この意義ある日を慶祝した

朝鮮水產會が愈よ滿洲北支進出
鹽干魚類の販路擴張に力む

【京城支局】朝鮮水產會では總督府援助の下に鮮產鹽干魚類の大量滿洲及北支進出を計畫し之れが販路の擴張並宣傳に躍氣となつてゐるが效果は顯面で逐年輸送量を增加してゐる即ち昨十年度中の輸出總數量は一萬六千餘箱であつたものが本年は各方面よりの注文も殺到し又販路擴張の餘地もあるので三萬餘箱を輸出することに決定し結氷期も目前に押迫り目下鯖、太刀魚、鰯等の鹽魚を盛んに製造中であるので本月末乃至十一月初旬頃より滿洲及北支方面に向け輸送を開始される豫定である尚ほ鹽干魚の消費期は結氷期間中に多く特に北支北滿方面は結氷期が長く又試食者は非常に賞味してゐるも、まだ鹽魚の味を知らぬものが多いので今後宣傳の徹底を期すれば販路擴張の餘地が多分にあるので總督府に於ても昨十年度より年額二萬五千圓の補助金を支給して宣傳並販路の擴張に努めつゝあるので茲數年ならずして十萬乃至十五、六萬箱の輸出を期待されてゐる

總督府鐵道局運輸收入の九月中狀況

【京城支局】總督府鐵道局九月中に於ける運輸收入は天候全く回復と共に客貨の動き相當活況を見せ其の收入は四百五十二萬八千五百三十九圓となり一日平均粁當り收入四十四圓五十三錢を示し前年同期に比し一粁當り一圓二十八錢の增收となつた其の實績は旅客乘車人員二百六十二萬四千百五十四人收入二百二十五萬五千七百七十五圓で前年同期に比し乘車人員十四萬八千七百九十三人收入十五萬六百二十圓の增加亦貨物發送瓲數に於ては六十一萬六千五百九十二瓲收入二百二十七萬二千七百六十四圓で前年同期に比し發送九萬九千二百六十六瓲收入三十一萬七千六百二十圓の增加である

藤津大連埠頭副長
日滿倉庫入り

【大連國通】滿鐵大連埠頭に二十七年間勤務し大連の生字引と言はれて居た大連埠頭副長藤津秀市氏は十日付を以て滿鐵を退社、傍系會社日滿倉庫に入社、同社大連事務所長に轉任した

圖們地方の重要食糧品物價調査

【圖們國通】圖們地方の主要食糧品類九月末調査

△麥粉は前月に比し平均十錢値上り、之は對濠關係による原料の値上りに起因し今後も上放れの豫想

△大豆は先月一時暴騰したが漸次常態に復し、更に新穀の出廻りにより下落の歩調を辿るものと豫想され

△粟は前月同樣

△白米は手持賣進みと本年作柄良好、それに作付反別の增加により新米出廻り增加を見込まれ前月に比し十錢安となり今後も低落する豫想

△砂糖も十錢から五十錢の下向を見たが佛の法貨切下げオランダの金離脫に追隨して產地に於る相場が急落を呈し荷間へと內地に於る先物消化等の關係氣迷ひ、漸次之も下落の豫想である

品目	數量	價格	前月比（△は減）
△麥粉			
地球印	一袋	三、九〇	〇、一〇
高樓	同	三、九五	〇、一〇
飛龍	同	三、八〇	〇、〇五
ダイヤ	同	三、七五	〇、〇五
△穀物			
大豆	一石	一三、〇〇	△一、〇〇
粟	同	一六、〇〇	
仁川白米	六〇瓩	一四、八〇	△〇、一〇
釜山同	同	一四、五〇	△〇、一〇
吉林同	四〇瓩	九、四〇	△〇、一〇

錦州省公署の地鎭祭

十月十日錦州省公署新築廳舍地鎭祭を擧行した（寫眞は錦州省長の玉串捧奠）

朝鮮の農作物被害一億圓突破

【東京國通】朝鮮の農作物は年初に於て冷害を被り續いて旱害の發生、記錄的な風水害低溫多濕に依る病蟲害並に氷害と應接に遑なきまでに連續被害の發生をみた結果これを集計すると本年の四月以降十月上旬までに總額實に七千四百二十八萬一千圓といふ超記錄的の巨額に達してゐる、而して此の集計中には過般の風水害の一部報告未了、平南、黃海兩道の旱害未報告、北鮮の高地帶被害未報告があり本年の農作被害高は既に優に一億圓を突破して居り從前の最高昭和九年の五千五百萬圓を遙かに凌駕してゐる

山岡部隊の討匪狀況

【哈爾濱國通】山岡部隊本部入電によれば最近山岡部隊麾下各部隊の討匪狀況は左の通りである

森部隊は十月八日木蘭縣土門子附近に於て九江、大東來の合流匪約三百と交戰四時間の後敵は死體三十六を遺棄して潰走したなほこの戰鬪においてわが軍上等兵松田庄五郎君は名譽の戰死をとげた青木部隊の西野部隊は十月四日通河縣詳順山南方で平心匪と交戰、水野部隊の內田部隊は十月二日雙城縣喜家店において天好匪を攻擊梅村部隊の棚波部隊は十月四日五常縣轉山嶺において不明匪を、同部隊の高澤部隊は五常縣三合頂で十月四日不明匪を森部隊及び下枝部隊の金子部隊は十月八日早朝巴彥縣分水嶺において不明匪をそれぞれ攻擊、いづれも匪團に大打擊を與へて潰走せしめた

滿洲醫大……廿五周年記念式

【奉天國通】輝かしい歷史を誇る滿洲醫科大學では十二日創立二十五周年の意義深い記念日を迎へたが、これが記念事業として今春來工事を急ぎつゝあつた記念大講堂と圖書館も此の程竣工、重なる喜びに全校は慶祝一色に塗られて居る、此の日醫大では午前十時から記念講堂落成式を擧行十一時から新講堂で在日滿各機關は勿論日本全國各醫大、醫專等の代表者數百名を招待創立二十五周年記念式を擧行夜はヤマトホテルに於て祝賀宴が張られた、又十四日から二十日迄文化祭が催される

圖佳沿線の木材出廻り狀況

【圖們國通】九月中圖佳沿線の木材出廻りは前月に比しさしたる動きなく今後結氷期に入り多少下落を豫想されてゐる

一、木材出廻狀況

林場	材別	單價	數量（才）	材種
春陽	丸材	八錢五厘	三〇萬	紅松
同	同	七錢	三六萬	杉松
牡丹江	同	八錢五厘	四萬	紅松
同	同	六錢五厘	四萬	杉松

二、木材輸出狀況（製材品）

材種	等級	單價	數量
紅松	上	一五錢	一八萬
同	中	一三錢	一三萬三千
同	下	九錢五厘	一七萬
杉松		一二錢	三五萬一千

三、九月末在荷狀況

材別	單價	數量（單位才）	材種
丸材	八錢五厘	一〇〇萬	紅松
同	七錢〇	一二〇萬	杉松
同	七錢〇	一二萬	雜木

尙ほ製材品の商店小賣値段は左の通りである

紅松　上二〇錢　中一五錢　下一〇錢
杉松　上一五錢　中一三錢　下一〇錢
水曲柳上三五錢
白楊丸太　八錢

大連滿鐵圖書館文藝作品募集

大連滿鐵圖書館では恒例行事として來る十一月初旬開催する圖書館週間に當り次の如き募集要項をもつて廣く文藝作品の懸賞募集をなす

一、題材の範圍　讀書及圖書館に關するもの
二、募集作品の種類　短歌、狂歌、俳句、川柳、流行歌、
三、締切及送附先　十月二十日限り、大連圖書館（滿鐵圖書館業務研究會）宛
四、賞金　各作品共一等（一人）金十圓二等（二人）金五圓三等（三人）金三圓
五、當選發表　十一月五日頃新聞及滿鐵全圖書館において發表
六、滿鐵業務研究會に於て適當なる方法に依り行ふ
七、其他
イ、用紙は官製ハガキとす
ロ、一人にて數種數點應募するときは各別用紙を用ゆること
ハ、住所氏名は必ずハガキ表面に明記のこと

奉タク伊藤專務背任罪で留置さる

【奉天國通】伊藤專務にからまる奉天タクシー會社內の不正容疑事件に關しては連日にわたり奉天署高等係で取調べを進めつゝあつたが、十二日正午問題の伊藤專務を召喚嚴重取調べの結果、つひに社金六千六百餘圓を滿洲自動車學校の經營費に流用せる背任事實明瞭となり身柄は一件書類と共に司法係に移された

讀者の領分

投稿歡迎　中傷不可

お尋ね

一讀者

秋冷の候貴社益々御隆昌の段慶賀し奉ります、さて私事新京在住の者ですが來年度陸軍に志願致したく存じて居りますが現在未だ寄留して居りませんが何日迄に寄留して志願手續を取るべきですか、中卒學校教練合格者ですが志願兵に幹部候補生の資格ありますか、又在滿部隊特に獨立守備隊でも幹候は出來ますか、又斯くの如き問合はせする機關が關東軍か關東局にありますが、多分私一人でなく在滿壯丁には相當あると思ひますから何卒紙上で御教示下さい

▽奉天弘報分會發會式△

奉天言論界を網羅せる滿洲帝國協和會奉天弘報分會は十一日午後二時半より奉天市商會に於て發會式を擧行した【寫眞は發會式會場】

園部々隊九月中東邊道一帶討伐狀況

東邊道各地に於る大小各種の匪團は日滿兩軍の不眠不休の討伐により著しく減少し同地方一帶の治安肅淸工作も今や完成の域に達したが、園部々隊本部管下各部隊の九月中に於る討伐狀況を見るに交戰回數實に五十四回、匪賊延人員約二千七百五十名、匪賊の損害死百九十四名、捕虜五名、鹵獲小銃四十三挺、小銃彈千七百五十五發拳銃二十四挺、同彈丸三百四十四發、その他人質奪還二十五名と言ふ好成績を示し、この間に於る我軍の犧牲者は戰死下士官一名、兵十四名、負傷下士官一名、兵十六名（內戰傷死三名）である、尙ほこの期間は農作物收穫を控へ例年各地に活潑なる匪賊の蠢動をみるのであるが、本年は例年に比し匪影が著しく減少し各部隊奮鬪の跡を如實に物語つて居る

□　□

園部々隊本部管下各部隊の九月中の討伐狀況左の如し

部隊名	交戰回數	交戰せる主なる匪首名（匪數）	射殺せる匪首名	匪賊損害	我死傷
布施部隊	七	吳義成、萬軍萬順、天號、占山好其他八名（約六〇〇）	保中國、双寶、金山、老好、北山	死五九	傷兵四
小田部隊	五	王慶實、双合、海林其他六名（約二八〇）	海林	死二八	傷兵一
片野部隊	五	衞國、大双字、天義、仁義（約二〇〇）		死七	死兵一　傷兵一
中代部隊	一二	大勝、占東洋、老北風、圖生、堂其他八名（約三七〇）		死一二	傷下一
鈴木部隊	五	中旬好、南北、合共匪（約二〇〇）		死三〇　捕五	
岩永部隊	一四	保面好、英字、明山、金山好、四海、小餘字（約五〇〇）			
牛嶋部隊	一	楊靖宇（約三〇〇）		死三〇	死下一　兵一二　傷兵九　戰傷死三
山口部隊	五	朱海樂、四海、大白字、愛國（約三〇〇）		死二六	（死兵一）（傷兵一）
合計	五四	約二、七五〇	六	死一九四　捕五	死下一　死兵一四　傷下一　傷兵一六（內戰傷死三）

婦人

秋果　圭月

職業婦人の
ヒステリーは獨身生活が原因
婚期が遅れると精神的に抑壓される

ヒステリーは嚴密にいふと生物に共通な欲望を抑壓するところに、よつてくる原原があるので、このため本當の行爲とは別な空想的な形となつて現れてくるやうになります。これが即ちヒステリーでこの發作が起ると甚しい例では氣狂ひのやうになるものがあります

（而）し普通の人が見て氣狂ひのやうに行動してゐる場合でもまた失神してゐるやうに見える場合でも意識は割合にしつかりして、倒れるときでも決して無暗のところへは倒れません。ちやんと危險のないところ、こゝなら安全だといふことを考へてから倒れます ヒステリーの發作が性的の意味をもつてをり、それがはつきり分つたのは精神分析學の研究が行はれた結果です。ヒステリーは患者の過去に於ける行動や驗經やが今日症狀となつて現れるもので、これを解釋するには一つは夢の解釋と全くおなじ方法が適用され一つはその行動から解釋する方法が行はれます。かういふ

（傾）向はこのごろ婦人には多分にあるやうにみられます。それにはもちろん幾多の理由がある。男のエネルギーが生物本來の欲望以外の方面に多く使はれるやうになつたことこれに對し婦人の方はとくに有閑婦人の方はとくに有閑婦人にあつてはエネルギー過剩症になつてゐること、こゝに一つの原因がたしかにある。これに反自然的行爲に對する自責の精神的の抑壓が入つて來てヒステリーが顯著になるのです。それでは職業婦人はどうなのか職業がエネルギーの最後の捌け口である場合は別として、婦人にあつてはさういふ例か少く、止むを得ず仕事をやつてゐるといつた傾向があり、この場合においてエネルギーは消費されずにゐる一方、晩くまで適當な結婚を得ないためエネルギーの捌け口がないのと、前にいつた精神的の抑壓が

（加）重されてヒステリーの傾向を帶びてくることゝなりますさういふことから近來の職業婦人にはヒステリーにかゝるのが多少増加しゝあるといへませう。

お料理獻立
さんまのトマト煮

さんまの季節になりましたから一寸變つてお美味しいお料理をいたしませう。

【材料】（五人前）
さんま　五尾
バタ　大匙一杯
トマト　二ヶ
玉葱　一ヶ
酒、鹽、胡椒、砂糖少々
生姜　少々

さんまに鹽をして生姜のしぼり汁と酒少々をかけ、一時間おいてバタで燒き、玉葱の炒めたものと、トマトの刻んだものを入れて煮、砂糖、鹽で味をととのへます。

果實を用ふる化粧 肌を荒らすか？
△果實の撰擇と使用法を間違へぬこと▽

酸度の強さ

果實類を皮膚に直接用ひることが有効か或は有害か？、この問題はどうも一言で決することは出來ないことでせう。果實類に含まれてゐる酸には皮膚を漂白したりシミやタルミを治す能力があることは科學的にも確力に根據のある事なのですからその點からは有効に違ひないのです、併し皮膚に對する相當强い漂白作用があるだけに、さうした酸性の果實を常用すれば當然皮膚を刺戟したり、荒したり吹出物の原因をつくることになりますまして皮膚の弱い人の場合には良い効果よりもむしろ弊害の方が著しく現はれることもあるでせう。

酸とアルカリ

併しながら、折角の美容的効果のある果實類をそれだけの理由で利用しないことも惜しいことですから、最も安全な道としては果實の選擇法と使用法さへ正しければ十分利用する價値はあると思はれますそれには先づ用ひんとする果實類を酸性であるか或はアルカリ性であるかを區別しますレモン、ぶだう、りんご等は酸性であり、へちま、胡瓜、トマト等はアルカリ性に屬します。

酸性の處理法

そして酸性の果實類でも、舌でふれた場合に舌を刺戟したり或はアクの出るものは酸性が强すぎるものですから、さうしたものは果汁（1）に對してホウ砂を溶かした水（2）の割で加へて用ひればよろしい。

トマトとホルモン

次にアルカリ性の果實ですとこれは肌を荒らすとか、吹出物を生じることとなく、反對に肌をなめらかにする作用がありますから。大いに用ひてよいのです。特にトマトの中にヴイタミンが非常に多量含んでをりますが、このヴイタミンはホルモンの分泌を促進し從つて皮膚を生々と美しくする能力もあると認めることができます。

▽▽▽農村の秋△△△

心ぼそい秋の拔毛
△豫防は日頃の心掛一つ

▼…女にとつて秋の落髪は身にしみて心細いものですが、これから暮頃にかけては情容赦もなくぬけます

▼…尤も髪の毛の秋に落ちる事の多いと少いとは凡て平生の心掛によるので、今更の樣にあはてゝみても間にあひませんが、幾分でもこの悲しみを救はうとならば毎日朝と晩とにマッサージを頭部に行ふ事、ブラッシユでよくどかす事まめに手入をする外、洗髪を月二回とし洗ふ前によく髪を梳いてから純良の植物性の水油を脱脂綿にしめして頭全體によくすりこみ一晩位そのまゝにしておいてから洗ふのです

▼…油をつけてから熱いタオルでむすこともよいのです。

ラヂオ　圭月

今日の話題

△今日は島根縣の國幣大社熊野神社の例祭日。

△義太夫や歌舞伎で名高い小春、治兵衛の死についたのが享保五年の十月十四日でありました。

△我國最初の總領事たるアメリカのハリスが將軍と會見のため江戸入りをしましたのが安政四年の同じ日でした。

△祝祭日が始めて定められその日を休日とされましたのは明治六年の十月十四日であります

△今日は六十四回鐵道開通記念日であります。明治五年九月十二日新橋、横濱間に鐵道の開通したのを太陽暦に換算されたものであります。

けふの番組
（M・T・O・T 新京放送局）十四日（水曜日）

◇朝◇
六、〇〇 建國體操
六、二〇 ラヂオ體操（東京）
六、四〇 初等滿洲語講座（大連） 講師 秋父因太郎
七、〇〇 初等日本語講座（奉天） 講師 近藤喜助
七、二〇 氣象通報（大連）
引續き 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 早晨演奏
九、二〇 料理獻立（奉天）
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 家庭講座（奉天）
一〇、二五 家庭メモ
一〇、三五 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）

◇晝◇
一〇、五九 時報（東京）
一一、四〇 ニュース（東京・新京）
〇、〇一 經濟市況（大連・新京）
〇、二〇 晝の演藝（レコード）
〇、四〇 建國體操
一、〇〇 白大演藝（大連）
一、二〇 ニュース（滿語）
一、三〇 成人講座（奉天） 日常衞生（三） 濱陽警察廳衞生科長 馮希廉
一、五〇 下午演奏（大連）
二、〇〇 經濟市況（滿語）
引續き 日用品値段（滿語）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京・新京）
三、三〇 經濟市況（大連・新京）
四、三〇 ニュース・演藝（鮮語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間（東京） 合唱と獨唱 JOAK唱歌隊

◇夜◇
五、二〇 コドモの新聞（大連）
五、二五 氣象通報・番組豫告
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 今晩の番組・官廳公示
六、二五 政府公報（滿語）
六、三〇 講演（東京） 鐵道の使命 鐵道大臣 前田米藏 鐵道精神の歌 鐵道省合唱團
七、〇〇 俚謠めぐり（その三）（長野） 大衆演藝週間（第三夜）
一、木曾節『木曾福島町』 熊野慶太郎 丸山眞一 畑中辰己 牛山仁郎 田澤義三 森一雄
二、伊那節『信州飯田町』 唄 菊江 三味線 笑香 同 雪枝 小鼓 小判 太鼓 ちよん子
七、一二 ラヂオオペレツタ（東京） 浮かれ樂長 菊田榮作
配役 健ちやん 榎本健一 平ちやん 二村定一 樂長 中村是好 外大ぜい 解說 北村季佐江 演出 波島貞 音樂 ピエルブリアントオーケストラ 音樂指揮 栗原重一 出演 榎本健一一座
七、五五 浪花節（名古屋） 腹切魚 鼈甲齋虎丸
八、三〇 時報・ニュース（東京）
引續き ニュース
八、四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告（滿語）
九、〇〇 舊劇 斷密 協和國劇社票友（大連）
九、三〇 滿洲演藝（哈爾濱）
一〇、〇〇 北滿の時間

アメリカの戰慄！ 黑衣テロ團（下）
ブラック・リージョン
髑髏のマークに集ふ團員六百萬

さて、彼等の自白及び、デトロイド檢事局でその後調査したものを中心に、ブラック・リージョンの構成をみることにしやう。この軍團は名の示す通り、全く軍隊組織であり、最高司令官は少將、その下に大佐、中佐以下一兵卒まであり、婦人別動隊もある。上官の命令は絕對に服從し、軍團に入團する時は次の如き宣言書を忠實に守ることを

※…誓…※

約するのである 即ち『團員は白人プロテスターントにして、その主義を擁護するためアナーキスト、共產黨員、ローマ教關係者の掃滅に努力し、アメリカニズムを信奉し、合衆國の忠實なる臣民として、その憲法法律を遵守することを誓ふ』といふ百パーセントにアメリカニズムを發揮しファッショ的色彩の濃厚な物々しいものである。これをみると、嘗つて全米を脅威したクー・クラックス・クラン（K・K・K）を想起するであらう。事實この黑衣軍團の總元締ウイリヤム・シエパード少將はその昔、K・Kの幹部であり、その當時から既に私兵を秘密に養成し、K・K・Kが白衣を纏ふに反して黑衣を纏ひ、團員の獲得に努力してゐたといふ。一九二二年K・K・Kが潰滅した時から現在までの間に團員六百萬を獲得した凄腕もさることながら、それだけのメンバーの大秘密結社を擁して現在まで、何人にも知られなかつたことは、彼等の秘密嚴守が如何に强力であり、規律が嚴格であつたかゞ窺われやう。現在までも當局が明確に調査した限りでは團員僅か三千名を出ぬと云われてゐるのであるから、彼等の秘密嚴守が如何に堅固であるかゞわかる。ではかくの如き政治的色彩を持つた黑衣軍團が、如何にして團員を獲得したかといふと第一に强制的參加で、これは目標を定めた男を深夜の集會に誘ひ出し、グロテスクな黑衣の男たちで包圍しピストルで威嚇し、妖しき血を啜らせ、原始的入團式を行ふのである。この妖しき儀式は、行き詰つた科學機械文明になれた頭腦を、知らず知らずに超現實的な夢幻の世界に引き込み、魂を魅惑し去つてしまふのであるといふ。第二の手段は、米國を襲つた恐慌を利用し、團員になつた者は絕對に失業させぬといふ手段で若し團員が解雇されるや、忽ちその地方の司令官に動員された黑衣の軍隊が出動し、雇主に對してピストル談判が行われるのだ。こんなことで、有耶無耶にあたら生命を絕たれた雇主は頗る多數に上つてゐるといふ。失業を欲せざる小市民が爭つて入團したのも無理からぬことだ。將來死ぬまで生活が武器に依つて保證される爲には入團費七ドル、毎月の會費十セントは安いものであらう。だが、これは六百萬團員から徵收するのだから毎月會費だけで六十萬ドルは幹部の手元に流れ込むことになる。

※…ブ…※

ール殺しから端なくも、全米に股がる秘密結社黑衣軍團が暴露されるや、一齊に各地から奮犯行が摘發さるゝに至つた。即ちミシガン州エスコース市長邸の爆破と市長慘死、ベンチアツク市の殺人事件、勞働總同盟員マーチヤツクの殺害、民主黨の大立物ヒエイ・ロング氏の暗殺等々、今迄迷宮入りした無數の殺害事件が彼等の仕事と見做されて來たのである。地元のデトロイド市檢事局は勿論全米に警察網を擴大し、政府に援助を懇請しGメンの出動を求めつゝ、團員の檢擧に狂奔してゐる。ニューヨークポスト紙を初め各紙は一齊に口を揃へて、政府を激勵し、黑衣軍團は米國を第二のドイツ、イタリーたらしめるものであり、此の際徹底的根絕を主張してゐる。然し彼等の秘密嚴守は、當局を手擂らせ、容易に掃滅し得ない現狀にある。當局に挑戰する脅迫狀は山積し、警官初め關係高官までも覆面の怪人に威嚇されてゐる。彼等は當局の活動を冷笑し檢擧を少しも恐れて居らぬ如きである。西部支部長エフインガーは次の如く豪語してゐる。『團員の規律を除いたことは何でも答へやう。我々黑衣軍團はアメリカニズムに反する一切に挑戰する。我々六百萬の團員が武器を持つて起てば、たちどころに獨裁政治を敢行出來るだらう……』彼等の意氣や正に軒昂である今後當局が、如何に處理してゆくか注目すべきであらう。

出生

▲本籍兵庫縣現住所近埠胡同四〇二ノ八武田保次氏二男修さん二日出生
▲本籍兵庫縣現住所日出町九ノ二田中興之助氏長男俊明さん五日出生
▲本籍秋田縣現住所市內白菊町二丁目十ノ一小松順松氏二男潔さん二日出生

學藝

枯れた風景

—三井實雄氏著『事變前後雜筆』—

宇屋鳴人

これは著者がジャーナリストとして滿洲、朝鮮で活動した時代に書いたものを一本にまとめたものである。

收むるところ、「滿洲事變の前夜」「事變の朝」「東邊道討匪行」「日滿議定書調印式に列して」「日滿ソ國境縱走」「沒落の張學良」の六篇の記錄と、評論四十七篇である。

卷頭の「滿洲事變の前夜」は、表面は小說風に綴られてある。尤も內容が容易であり當時奉天で立ち働いた新聞人の動きを中心に書いたものであつて、文學的評價の對象とすべきものではない。

「事變の朝」は小篇。

「東邊道討匪行」は數葉の寫眞を挿入してゐる。記錄篇である。

「日滿議定書調印式に列して」「日滿ソ國境縱走」ともに當時の實記。

「沒落の張學良」は「この小說は、新聞記者の手帳から拔たい實話である。作中の人物も成るべく本名を用ひた。文も荒削りのまゝであつて脚色はしてない」とある通りのものである。

以上を通讀して、私は老練な歌人である筈のこの人が、この種のものを書いてはまさに自ら言へるやうに「荒削り」であることを時に感じ取つた。それはこの本の場合に於ける題材がそれを必然ならしめたのであらうか、それともその間に處した作者の生活がそのやうに乾燥してゐたといふのであらうか？

枯れたやうな筆致よりもむしろ若々しい線に潤ほふやうな情趣が欲しいと思ふのは私一人だけの感想であるだらうか？

德富翁式に、お世辭を言つて少しの不滿を言ふやうな紹介乃至書評の代りに、私はあつさり記錄六篇を讀んでの印象を書き記した。

著者の生活多幸なれと祈る。

（新京雲鶴街二〇六、著者刊行、非賣品、四六判 二三四頁）

吉林句會詠草

河の水日々すみ細り草の花　詩有朗

卷蔓と共に咲きけり草の花　山彦

草の花歩き疲れし子を負ひて　まつゑ

剝製につく虫爛ず夜寒宿　一穎

木々の葉を風ならしゆく秋夕べ　亘濤

刈り溜むる溫突焚や草の花　南涯

忠靈の眠れるあたり草の花　蘇溪

ハイカーの歸り仕度や草の花　北斗星

茶のぬくみ親しき朝や新米飼　伯陽

夢さめて夜寒の時計かぞへけり　砂人

新米の呼吸する朝の釜に佇つ　九樂

傾ける新米船を迎へけり　村路

生田鳴秋氏へ（下）

—「新京俳句大會記」を讀みて—

落葉村

主選といふことは、私の經驗では未だ曾て之を見たことがなく、人の話や、書物の上で知つてゐるだけである。（互選の外に、主選を置いてゐる例は多々あり、ホトトギスの句會などもこれを行つてゐる）更に天位落卷などゝいふ言葉は古い蓮座の知識として私は知つてゐるだけで、今時そんな遣り方をしてゐる句會は、有るかも知れないが極めて寥々たるものであらう、これは「所變れば品變るの謂」ではなく、恐らく時代の推移が然らしめたのであらう、だから、今後新京俳句大會が繼續されたとしても、氏の提唱されるやうな大時代の蓮座方法を、今更採用するの必要は毫末もなく、全員互選で一向差支無いのである。然し「相當のリーダーを戴いて進むならば、忽ち優秀な俳人郡が出來ること」を折角氏が「保證」して下さつた程、有望なインテリ層の居る新京俳壇なのだからさういふ人が得られさへすれば、互選の外にその人の主選を願つて、句の批評や句作上の注意をして戴くことには、まことに賛成である、が、その場合でも、私は互選といふことは飽迄尊重したいと思ふ。それは選をするといふことが、各自に取つて句作以上の勉强にもなり樂しみでもあるからである。「互選であるが故に此のグループの視野に外れて、あたら句反古として葬られた佳什も尠くなかつた」と氏は記してゐられるが、そして高點が互選に對する此の反對理由でもあるらしいが、五年、十年、若くはそれ以上の年月、孜々として斯道に精進し續けてゐる人が、この間の句會にも、五人や七人は出席してゐたのであり、それらの人達が、一樣に見遁した句の中に、さう〳〵佳什が轉がつてゐたとは私には信じられない。（絶對に無いと私は言つてゐるのではない）

これは氏の誇張か、それともお世辭であるかも知れない。勿論かうした互選の結果は、最高點を得た句に案外凡句があつたり、點數の少い句に秀吟のあることは、句會に經驗のある人は誰でも承知してゐることである。が、それはそれでちつとも差支無いのであつて、高點者落卷などゝいふのは、たとへ主選が獨りで選をするにしたところで、要するに余興的な興味の外に大した意義はないのである。私達はたゞ、眞摯な氣持で句作に耽り、同じ氣持で、他人の句作を吟味、鑑賞し、選をすれば、それで句會の目的は達するのである。然るべき主選者が得られゝば、之に越したことはないが、必ずしもさうした指導的地位に立つ人がなくても、各自の氣持次第で、互に研讚して行けば相當高い句境に達せられると信じてゐる況してや、誰か高點を得んとか、誰が何句入選したなどゝいふことは、單なる興味以上に價値を置いてゐないのである。

現在新京には、この間の大會へ出席しなかつた人で、錚々たる俳壇の大家が三五人はゐる筈である。折角かういふ機會を持ち得たのであるから、この際それらの大家の出馬をも仰いで、第二回、第三回と更に盛んな集まりを持つことを、私も非常に切望してゐる。たゞ、さういふ風に多くの人が集まればだけ、各自が勝手に獨りよがりや、思ひ上りを振廻してゐては、到底纏まりが附かないのである。由來、藝道に遊ぶ者は、內に確乎たる矜持を藏すると共に外に對しては極めて謙虚な氣持を以て接しなければならない。何等恩怨のない氏に對して、私がこんな非禮な文を敢て草しなければならなかつたのは氏の態度が余りに傲慢で當日の主催者側のあれ程の好意を無視し、且つ他の出席者をまるで木偶のやうに思ひ做してゐられる如き、その思ひ上りに對して義憤を感じたためであつて、毫も他意有るのではない、玆に謹んで非禮を謝し、氏の加餐を祈る。（一〇・七）

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△滿洲行政（十月號）「美術殿堂の建設」を卷頭言に武部六藏氏の「外地統治史上の偉觀」「關東局施政の今昔」久保迪夫「滿蒙交渉の經緯とその展望」五十嵐眞作「風車による沙漠地帶の改良」松村勇造「淸人治漢の一面を觀る」佐藤愼一郎「俗諺から見た支那の役所（二）」嘉村滿雄「支那滿洲廟市考」山本守「淸朝實錄のはなし」宇治雅夫「秋窓短章」壺南翁「パレスタインの冷笑（三）」等を收めてゐる、淸新さの上に豐饒さを加へて滿洲の雜誌界に特色ある發展をなすやう希望される（新京興安大路一一六、滿洲行政學會、三十五錢）

△力行世界（十月號）永田稠會長の「移住地成敗の標尺」は常識的に移民が喰ふて行けること、借金の支拂が出來ること、公益施設の自給が出來ることを標尺とし眞の成功を「計劃者達の生きてゐる日には見る事の出來ぬ程遠き將來のものではなからうか」としてゐる、南北生「貧者の歌」十首、作者は新京に住む人らしい（東京市板橋區小竹町、力行世界社、三十錢）

△國教（十月號）高雄一「大和言葉の復興」舌川淸治「生命に關する研究」伴河導「火の神の發現」等本誌はすでに九十四號である（東京市澁谷區大和田町九五、惟神會、三十錢）

官場現形記（178）

李寶嘉作　大內隆雄譯

＝第十五回の六＝

莊は怒つた調子で言つた。

「一體お前達はどうだつて言ふのだ、さういふ有樣ぢや、おれは統領にどう報告したらいいのだ？今はもう一つの方法があるだけだ、お前たちは犯人を指し示す、それに依つて直ちに處置する。それが出來ねば、お前たちを誣告罪として處罰せねばならん！」

みんなはこの言葉を聽いて一齊に地に跪いて赦しを乞ふたのであつた。

莊は彼等が恐怖を覺えてゐるのを見て、一層勢ひ良くなつて來、みんなを統領の船に送らねばならんと言つたり、既にして證據が無いとすれば先刻の金はみな受取るべきものでない、一齊に返すべきだと言つたりした。みんなはそれを肯かず、ただおろおろとして叩頭するばかりである。

莊は更に言つた。

「わしはお前達が、可哀さうな事は可哀さうだと思ふのだ、しかし又ひどい奴らだ、ひどい目に遭はされたといふのなら、何で眞凶實犯を指摘せんのだ、ただそれでおれの出やうを待つ積りなのか？いま害を蒙つてもそれを伸べる處がないやうにし、それで誣告の罪名に落ちやうとしてゐるではないか。幸ひ本官はお前達の苦しい所を知つてゐるからいい、若しも外の者だつたらお前達が今日この騷ぎを仕出かしたのは小さな事件ぢやないんだぞ！—さあお前達はどう思ふ、言つて見ろ、おれが思ふ通りにやつてやる」

みんなは言つた。

「あたし達この上何を申すことがございませう、私どもは旦那樣の子のやうなものです、ただ旦那樣が私共に同情して下さいましたら、私共は大變有り難いと思ふのでございます」

莊はそれを聽いても、物を言はず、眉頭に皺よせてゐたが、やがてやつと口を開いた。

「それはわしとしても難しいのだ、いまお前達を放してやるのは容易だ、だがそれでは統領の前に行つておれは叱りを受けねばならん」

みんなは叩頭するばかりでだまつてゐる。

莊は又尋ねた。

「家が燒かれた、品物が强奪されたといふのは本當なんだな？」

みんなは

「本當でございます」

と答へる。

又尋ねた。

「女を强姦したといふのは本當か？」

女房と娘が兵に强姦されたといふその男は、ただ淚を眼に浮べて返答出來ずにゐる。

莊は言つた。

「今はただ一つは方法があるだけだ、お前達のために一條の生路を開く方法だ、誣告の罪にならず、撫恤の金も樂々と貰へるといふ方法だ」

みんなは大老爺がこんな心づかひをしてくれたので又一齊に叩頭した。

莊はそこで又言つた。

「さうといふ事は、みな兵勇がやつたといふ事は本官も知つて居る、しかし證據がなくては、何んともする事が出來ん、いまお前達が罪名から脫れるためには、さういふ事件を悉く土匪の仕業といふ事にしてしまふのだ。お前達は書類を書き替へて、どんなに土匪からひどい目に遭はされたかを書き出し、それをわしの方に差し出す、それからみんな受取を書いて縣から幾ら貰つたかを明らかにする、わしはそれを持つて行つて統領の同情を求める、若しうまく行けば幸ひだ、うまく行かねば仕方がないが」

みんなは言つた。

「旦那樣が統領大人にお願ひして下さればうまく行くに違ひありません」

「まあ見てゐてくれ、所でお前達に了解してゐて貰ひたいことだが、お前達がひどい目に遭はされた土匪、その土匪を統領が討伐されたといふ道理だ、これは心得てゐて貰はねばならん」

これをみんなは統領が錢を要求するのだと考へて一齊に泣き聲になつて言つた。

「私達は土匪に遭つて、家は毀され、人も死んでゐるのです、この上出せるやうな錢はありません、どうか御同情ねがひます」

（つゞく）

強く明るい視力を培ふ眼科薬

スマイル

實務にも　趣味にも
運動にも…強靱明澄な視力こそ近代生活の覇者です

眼は腦の窓―人體最高の器管として絶えず清潔に保ち適度の休息と榮養を與へられなくてはなりません。然し現代人は文化の進展に伴ひ何かにつけ視力の過勞に陷り眼疾菌の侵襲に脅かされ勝ちです。

この矛盾を解決する途は？

優秀なる眼科薬の常備以外にありません。例へば――

結膜炎

所謂「はやり目」で、特殊の細菌、塵埃、強烈な光線等のために眼瞼が充血し、目の中がゴロ〱して、灼く樣な痛みを覺え、眩しくて涙や眼脂が旺んに流れる樣な時、眼を清潔にしてスマイルを一日數回點眼すれば、優秀な消炎、殺菌、收斂作用を發揮し速かに輕快します。

角膜炎

外傷、結膜炎の惡化等に因つて黑眼が濁り、ホシが出來、目が眩んで涙が止め度なく出る樣な場合眼を安靜にし、罨法を施すと共にスマイルの點眼を繼續すれば、暫時にして輕快します。

トラホーム

學齡兒童間に蔓延し、文明國の恥辱と云はれる此の嫌ふべき傳染性眼疾も、早期に洗面器、手拭等の衛生に留意し、罨法とスマイルの點眼とを繰返せば卓効著るしく次第に恢復に向ふものです。

眼精疲勞

執務、讀書、映畫鑑賞等の後眼が疲れ易く思考力、記憶力が鈍つて神經衰弱樣の症候に惱まれる方や老人で視力の弱つた方等は、日常隨時スマイルをお點しになれば視力が强まり心氣爽快を覺えます

スマイル

以上の他、多くの眼病を豫防治療すると同時に眼に榮養を與へて視力を强め、紫外線の害を防ぎ瞳を美化する作用を持つた、近代生活に適はしい高級眼科藥です！

◎容器の特長
――とその使用法

琥珀色の硬質ガラス瓶と銀色のキャップを持つスマイルの容器は堅牢て、而も瀟洒です！親指と中指で輕く支へて、人差指で瓶底を輕打すると藥液が一滴宛快く眼に入るスマートな自動點眼式です！

【定價】二十五錢・四十五錢
全國藥店・百貨店藥品部にあり

總代理店　東京 大阪　玉置合名會社

"各國共に滿洲國を事實上承認した"

歐亞貨物連絡會議を終へ　宇佐美課長昨夕着京

過般ワルソーに於て開催された旅客連絡會議及モスコーにおいての貨物連絡會議に出席した鐵道總局宇佐美旅客課長鐵路局側竹森愷天夫、角田壯次郎、山内繁、長谷川嚴雄の諸氏鐵道省側梅村元之助、高橋茂司、田中藤十郎、長橋明俊諸氏の一行は十三日午後一時着あじあで來京したが一行を代表して宇佐美旅客課長は左の如く語つた

會議の結果や歐洲鐵道事業の現況はハルビンでお話した樣なものです滿洲國として今回の會議に出席したのは今度が初めてであるが、各國が共に滿洲國の獨立を名實共に承認したやうな

待遇をして呉れた今度の會議の收穫としては滿洲國に保税倉庫が出來ると共に大連安東間の客貨輸送が實施されることゝ又佛國が實質的に加盟した爲めパリー、東京間直通の切符が發賣されやうになつたことで之等は明年一月一日より施行される、今回はポーランドの新加入によつて從來フヰンランドを經由して獨逸に行つたものがポーランドを經て

陸路で行く事が出來る、滿洲國側提案である羅津經由の客貨輸送は各國の承認を得たがソ聯の條件附の反對にあつた爲め却下されたのは殘念であつた、次回會議前に滿ソ交渉をなし解決する積りだ歐洲各國の鐵道サービスの改善徹底に專心してゐることは非常なものでドイツは法令を以て從來のチブッ制を廢し心の奉仕に努め國民性改良を圖つてゐる、ソ聯の如きはガバノウヰッチ鐵道人民委員が第一次計畫の貨物輸送を終つて旅客輸送の萬全に努めてゐる、次回會議は千九百三十八年に旅客の方はパリで

貨物の方はハンブルグで開催されるが千九百四十年は建國二千六百年祭に當つて第十二回オリムピツクを始め各種の會が日本で開催されるので是非日本に招致するやう希望を述べておいた、兎に角初めての出席としては好成績を收め得たと思ふ

なほ一行はヤマトホテルに一泊し十四日午前九時發はとで奉天に向ふ

横川氏遺蹟保有會　寄贈書畫展覽會

本社主催　愈よ十六日より開催

夕刊既報の如く殉國志士横川省三氏遺蹟保存會寄贈書畫展覽會は本社後援のもとに來る十六、七、八日の三日間驛前ビューロー二階滿洲土産品陳列所廣間に於て開催されることになつたが、既に市中の話題の中心となり非常に人氣を呼んでゐる、日露大戰當時憂國志士の中に人一倍憂國の念に燃へ、心身を抛つて國辱を雪がんと決心した烈士の多い中に大戰初頭に當つて、重大なる特別任務を引受け、同志六人と共に任に當り、大事將に成功を告げんとした刹那、不幸にも千載の遺恨を忍び敵軍に捕へられ遂にハルビン郊外に於て銃殺の極刑に處せられた横川省三、沖禎介兩氏の勇名は苟くも日露大戰の歴史を知る程の國民は今尚記憶に刻み着けられてゐる筈であるが、日露戰役後三十三年を經た今日、此處に同烈士の偉功を偲ぶ寄贈書畫の展覽即賣會の開催は實に意義ある催しと言はねばならぬ（寫眞は特別任務を帶び北京出發前撮影せる六烈士である向つて左より前列二番目が横川氏）

敷島高女の聯合防火演習

新京敷島高等女學校寄宿舍、滿鐵消防隊聯合防火演習は十三日午後四時半から實施された、炊事場から發火し、百五十名の舍生は堺田、及川、神田、今泉、折田の五舍監の指揮で屋上に避難し、消防隊の援助のもとに救命袋、梯子を用ひて全部無事安全地帶に救助され同五時二十分終了した

煤煙防止委員會　十六日午後續開

委員長には韓市長を依囑か

新京煤煙防止委員會は滿鐵職制改革に伴ふ新京地方事務所長武田胤雄氏の轉勤其他で中斷の形となつてゐたが滿鐵關係の人事も一段落つき煖房使用期に當面したので十六日午後一時から滿鐵新京事務局會議室に各關係者が集合本年度事業の具體案につき協議し直ちに實行に移ることゝなつたなほ委員長には韓特別市長を依囑する模樣である

"今度の滿洲旅行は全く白紙同然"

安川社長きのふ來京

日本實業界の巨頭日本レーヨン社長安川雄之助氏は秘書植木房太郎氏を帶同十三日午後五時二十分"あじあ"で滿鐵新京事務局高田業務課長、岡田總務係主任其他の出迎へをうけて着京直ちにヤマトホテルに入つたが左の如く語つた

門司でも新聞記者の包圍をうけたが一切語らなかつた今回の旅行は全く白紙ですべては軍の指圖に從ふ譯で各地を見たのち報告を終へてからだとお話しすることも出來やう

なほ同氏は十四日は新京神社忠靈塔を參拜、關東軍を訪問し視察日程その他を打合せるものと見られるが以後の日程は全然分らない（寫眞は來京した安川雄之助氏）

公費係の名刺振廻し　滿人花街を脅喝

元滿鐵社員二人組逮捕さる

滿鐵地方事務所公費係の名刺を振り廻し滿人花街で白晝惡事を働いてゐた二人連れの青年が十三日新京署員に逮捕された最近市内滿人料理店街を滿鐵新京地方事務所公費係森又は丸山の名刺を所持して徘徊帳場に上り込み公費滯納を口實に三圓五圓の金を卷きあげ或は無錢飲食をなす日本人青年のあることを聞き込んだ新京署司法係では極力犯人内偵中十三日午後一時頃双玉班から立ち出でんとする擧動不審の男を發見誰何するや矢庭に逃走したので大和通派出所員と協力漸くにして取り押へ本署に連行取調べると本籍鹿兒島縣哈良郡生れ現住所城内東三馬路自靈會止宿安栖重雄（三一）で同人は昨年十月滿鐵を馘首され大連方面を流浪してゐたが本年二月頃來京前記自靈會に止宿以前地方事務所に居たことを奇貨とし滿鐵社員の名刺を使用し滿人料理店の公費滯納を口實に片つ端から三圓五圓の現金を詐取し或は無錢飲食等その被害は莫大に上るものと見られてゐるなほ共犯日大研究生と稱する男も同時に逮捕目下嚴重取調をつゞけてゐるが相當餘罪ある見込みである

採鑛公司社員鮮匪に殺害さる

【安東國通】去る十一日午前九時輯安縣第八區頭道崴子において國際採鑛公司主任鈴木榮氏が鮮匪のため殺害された旨十三日午前當地に情報あつたので、各機關では直ちに眞相調査に着手したが目下詳細不明

新京藥局のボヤ

市内東三條通り五十六番地新京藥局坂下チヨ方風呂場から十三日午後六時十五分ごろ發火し、滿鐵消防隊出動し消火につとめた結果、同三十五分風呂場だけ燒けて鎭火した、原因は店員が扱つてゐた揮發由に風呂場の火が引火したらしく、損害額その他目下取調べ中である

大酒飲みの籠拔欺詐

十日午後十一時ごろ豐樂路三浦商店へ眼鏡をかけた年齡三十才位の日本人の男が來て日本酒を建和胡同三百七號の自宅まで屆けて呉れ代金は自宅で拂ふからと菊正八本を賴み店員李文成（二八）に持たせて建和胡同三百七號川瀬昌之助方裏口まで屆けさせ、後サイダー一打持つて來て呉れと李を取りに歸らしたが、サイダー一打を屆けると件の男は姿を見せず酒八本はなく、なほ男は川瀬方では何も知らぬ男と判り初めて籠拔けであることが判り、領警署へ屆け出でた

"朝日座"の開館披露

日本橋詰朝日通り角に二十餘萬圓を投じ千五百の觀客を收容し得る朝日座は十三日午後一時、日滿各界の人々を招待して華々しく開館式を擧行した、岸本館主の挨拶に對し來賓を代表して田中居留民會長祝辭を述べ、祝宴に移り午後三時すぎ試寫を行つたが非常な盛會で午後六時からの披露無料興行を待つ群集が館前を埋めてゐた

パラダイス新京パレスの紅葉祭

ダイヤ街のカフエーパラダイスと五馬路の新京パレスでは東京銀座新宿から新進美人女給が十數名來援し時節柄兩店共室内を紅葉を以て裝飾して紅葉祭の開催中である

ナショナル軒開店

日本橋通廿二理髮館ナショナル軒ではかねて新築中の店舖竣工、十三日より開店の運びとなつた、最新式の設備と技術優秀な職人を揃へて技術にサービスに萬全を期してゐる

物事は何れにしても始めが肝腎、輪入ビルの三階ホテルは計畫發表と同時に旅館業者側からそれは筋違ひだとばかり猛烈な反對が起り▼すつたもんだの末やつと輪組側の苦肉の策個人名儀で再出願となり、兩者の面目をたてゝその名も目出度く蓬萊ホテルとなつて許可せられたが、許可證は未だ[illegible]務上の都合で當事者の手に屆かない▼許可になつたも同然、一安心と思ひきや輪組の久末理事なかなかどうして「御諒解は得てゐるが、許可證がおりないので未だ何とも申上げられないぢつと大人しくしてゐれば何時かは許可されるものは許可されるものと信じます」とはあつものにこりてなますをふく用心さではある

小八家子遭難の感激

公會堂書記長　眞殿星麿記

小八家子見學團の不慮の天災に因る遭難及び之が救援の狀況に就ては、既に本紙に詳報されたが、遭難者の一人として其の際目賭し體驗した貴社員並交通會社員諸氏の非常事變に處しての誠意と努力及び團員各位の互助的精神の發露に對し、一言報告感謝する義務を感ずる

往きには何々もなかつた道路が、一雨降つた跡の歸途には泥田とか壁土とかいふ形容では到底想像出來ない程酷くなつてゐた。車輪は徒らに空轉する許りでまるで進まないそしてともすればツルリと辷つて横の溝へ落ちんとする。運轉手君の苦心たるや全く見て居れない程である。遂に乘客の男子は皆雨の中を外へ飛び出して、泥まみれになつて止まつた車の後押しを初めた力を合せてやつと車台を元に戻し、少し動いたと思ふとまた泥沼に陷つて了ふ。もう丸太かなんかで擔ぎ上げる以外方法がないとなつて、運轉手君を先頭に乘客の若い人二人靴も埋もれて了ふ畠の中を三町も向ふに行つて、太い丸太を見付けて來た。エンヂンを掛けて乘客一同ワッショイ〳〵と丸太で車台を擔ぎ上げた。洋服も靴も泥細工のやうになつても厭ふ人もない、婦人客も見兼ねて外へ出やうとするが、イヤ若い女方は中に入らつしやいと止めて出さない。

○

愈よバスを見捨てゝ雨中を徒歩で小合隆まで行くか、又は小八家子へ後返りする外方法がないと決まつて、私達は小八家子へ戻つたが、交通會社及び新聞社の方々はあつちのバス、こつちのバスと駈け歩いてのお世話は涙ぐましい程であつた。團員も誰一人不平を云ふ人もない。困難な作業をして漸く車輪に鎖を捲いたサービスカーが幸ひ動くやうになつたので、それに收容せられたが、婦人達は覆ひのある運轉手台に入れ、尚這入り切れなくて後のトラックに立つてゐる婦人に、自分の外套を脫いで無理に着せかけて上げる若い人もあつた。そのサービスカーがまた立往生して小八家子から迎へに來た荷馬車に救はれた時も、婦人だけを乘せて男は皆泥沼の中を歩いた。

天主堂に到着して村人達の心からなる歡待には一同感激した。慰問に見えた神父に一人々々自己紹介して感激の辭を述べ、神父が之に對し「此村に這入つた人は皆一家族である、あな方は今自分の家に居られるのだ。そんなに感謝なされる必要はない。どうぞ緩りお休み下さい」と挨拶されたのも、各自の心に深く殘つた。教會堂に感謝の獻金をしやうといふ相談も、之を御緣に名簿を作つて再び今宵の感激を語り合はうといふ申合せも皆團員の中から起つて直ぐ纏まつた。今日の遭難をつぶやく人は一人もなく、皆計らずも此宗教村に一夜を明かし、日滿一德一心を具現した村人達の温き情を受ける機會を得たことを喜んだ

○

之にも増して感謝したのは交通會社の方々のお骨折りに對してゞあつた。惡戰苦闘をして漸く吾々を此處へ送り付けた運轉手君の二人は、直ぐ連絡の爲暗夜を騎馬で小合隆へ向け出發された。殘つた人々は神父や村人達と力を併せて、夕食の供給、蒲團の借入れ、明日出發の爲の荷馬車の驅出しと、體を休める暇もなく奔走された、一同が粗末乍らもキレイに洗濯された蒲團に包まつて、思ひ〳〵に温床の上に横になつた後、交通會社の方は徹夜して炊の火を燃やしたり、洋燈の油が盡きると蠟燭を點けたり、氣を付けて居られた。午前三時頃パンと一發の爆聲に、皆驚いて飛び起きると、一人火達磨になつて揉み消そうともがいてゐる、傍の人が突差の機轉で蒲團で包んだら、直ぐ消えた幸ひ火傷もしなかつたが、之は運轉手の方が雨に濕つた草を坑に燃やさんと努めてる内股に浸んでゐるガソリンに點火したものだつた。

夜が明けて六時から教會堂で行はれる彌撒に參列することの出來たのは、何よりの仕合せだつた。村人達の小さい子供に至るまで堂一杯に集つて、床にひざまづき合唱禮拜する姿を美しと見た。それにも増して日蓮宗の吉岡師や、西本願寺の方や、珠數を手にした老婦人等、何れも敬虔な態度で、此異宗教の禮拜に共に合掌して居られるのを床しく思つた。出發の時堂前に整列神父に感謝の言葉を述べ、昨夜の淨財を捧げた。「さようなら〳〵」と互ひに手を擧げて叫び交しつゝ此村を離れる時、またもう一度訪れたいといふ念が胸一杯になつた

○

八人宛荷馬車六台に分乘して歸り往く路の酷さに、今更乍ら一驚を吃した。點々と乘り棄てられた六台のバスに昨日の困苦を想起した。四頭の馬が惹く車も遲々として進まない。車輪に粘着した泥は見る〳〵内車台に侵入して堆く積まれる。馬を止めては泥をこね落して又進む。七時半に出て小合隆の驛まで約四里を十一時二十九分までに着かねば汽車に間に合はぬ。此泥道に飛降りては前後の車の間を斷け廻つて、早く走れと督勵される社員の方の苦を勞心から有難いと思つた。やつと驛に到着したのと、汽車が來たのと同時であつた。もう五分もかゝつたら又半日待たねばならなかつたのだ。此處で、新聞、交通兩社の方々の御出迎へを受け、車中で昨日來吾々救援の爲に盡された數々の勞苦を聞き勿躰ないと思つた不眠不休で焦慮して下さつてゐる間に、吾々は村人達の温き情に浴し、又と得[illegible]き感激に浸りつゝ一夜を安らかに過ごして居たのだ。寛城子に着くとお辨當やパンや熱いお茶まで配られて益々恐縮した。

兼ねて私は今度の遭難に就き、兩社々員の方々の取られた機宜の處置と、その誠意と努力に對し感謝の意を表し、併せて女連れの爲特に色々御世話になつた同行各位に御禮を申上げる。尚一行[illegible]の爲い骨折り下さつた各方面に感謝の意を表する。（寫眞は眞殿星麿氏）

妖魔往來

（上映上演）　桃川燕二演　内山鉦太郎畫

七三

八郎の宿をつきとめて話すことにしようといはれた、駕籠屋は、

「其奴ア結構だ――未だ日が高うございますぜ、この先幾ら行くか分らないのに其先までアノ早足の供は困ります、何うか追付いてトッ捕めえますから、それで何うぞ御勘辨を……」

「成程然う云はれて見るとお前達の足が續かぬかもしれぬ、おやア斯うしてお呉れ、途中途中で押へるなどゝいふことは失禮、最う一と骨折りをして虚無僧を追抜き先の丁場でお前達も休み、私も休んで跡から來るところを呼込まうからね」

「アゝそれが好うございます、其處で腹でも拵へれば又お供の出來ないこともありません、會根今一ト息……」

再びとび出した」

お蝶も八郎を一目見へダつたのでございますから、此虚無僧が果して八郎であるか無いか能く見屆ける必要がございます、以前の通り御高祖頭巾を目深に冠つて駕籠の垂れを上げさせて一生懸命に外を見て居ました、駕籠屋はドンドンとんで往くが其内に虚無僧に近づいて來た、八郎には死ぬほど惚つてゐるお蝶、姿形ちは眼の中に這入つてをります、追越しながら見屆けたが正しく八郎に相違ございません、イヤ喜んだの喜ばないのぢやアない最う斯う突止めた上は此方のもの、女賊師お蝶の家では飛んだ邪魔が這いつて盗の賊を逃して了つた、今度こそは命にかけても本意を成させねばならぬ、若し否やを言つたらば承知しない生して置いて外の女の持物にさせるくらゐなら殺して置いて自分も死ぬ、と、斯う思ひながら行く過ぎました。

「今晩の宿場は何處かね」

「小中眞でございます」

「アゝ然うかね最う直ぐかえ」

「モウ二十二丁あります」

「それでは小中眞で休むことにするよ」

「有難いなア、どうかさういふことにお願ひ申します」

「小中眞ではちよつと食へる物のある家は何處だね」

「中の建場が好うございます、中會席離れた座敷もありますし、だとかいつて素晴らしい評判でございます」

「チヤア中の建場へつけてお呉れ、成だけ、急いでね……」

「モウ腹の虫が承知しませぬ、急ぐなと、仰有つても急がずには居られないんで、先棒早くおとぎに有付かうぜ」

「さうともさ……」

駕籠屋は空腹を堪へて小中眞の中の建場へ來た

「お早いお着きでございます」

「お出でなさいまし」

お蝶は無言の儘駕籠から出る女中の案内によつて座敷へ通つた、成程この建場は普通の建場ではない、家の普請なぞも凝つて出來てゐます

「姐さんや……鳥渡待合せる人があります、奥の座敷を借りたいがどうだらう」

「宜しうございますとも、サアどうぞ此方へ……」

「イヱ待合せる人の來るまでは此處で見張つてゐた方がよい、奥の座敷へ何時でも通れる樣に用意して置いて下さい、此衝立の陰で見張つてゐるからね」

「左樣でございますか、それでは彼方へ用意を致します、」

「それからね、駕籠屋二人に御酒でも御飯でも好む通り出してやつてお呉れ、勘定は皆私の方から出しますからね」

「畏まりました」

「是はお前に上げるよ」

と幾らか紙に包んで投り出した